



第7回中部歴史まちづくりサミット in 美濃



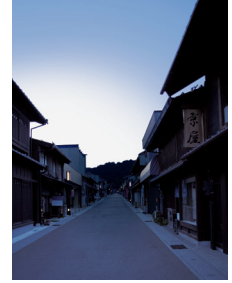
高山市



亀山市



犬山市



恵那市



美濃市



明和町



岐阜市



郡上市



名古屋市



伊賀市



岡崎市



三島市



掛川市



伊豆の国市



下田市

令和元年10月30日
岐阜県美濃市 美濃市文化会館
主催：美濃市、国土交通省中部地方整備局



第7回

中部歴史

まちづくりサミットin美濃

2019年10月30日(水) 13:00~17:35 (開場12:00)

会場 | 美濃市文化会館

入場無料 事前申込制 先着 450名様

※お席には限りがございます
※1人2枚まで申込みが可能です
※当日の入場は事前に配布する整理券が必要です

①基調講演.....13:30~13:45
「歴史まちづくり法の意義と美濃市の歴史まちづくり」 越澤 明氏

②記念講演.....13:50~15:05
「高橋英樹のおもしろ日本史」 高橋 英樹氏

③パネルディスカッション.....15:20~16:45
「新時代の歴まちを創造する~令和の歴史まちづくり~」
パネリスト 歴史まちづくりに取り組む15都市の首長等
コーディネーター 越澤 明氏



越澤 明氏



高橋 英樹氏

申込方法

申込用紙に必要事項を記載の上、窓口またはメールにて申込み

窓口 美濃市 建設部 都市整備課
(岐阜県美濃市1350番地 美濃市役所 2階)

メール rekimachi@city.mino.lg.jp

申込用紙ダウンロード <http://www.city.mino.gifu.jp/pages/43301>

※電話、FAXでの申込は不可



期間

窓口 10月7日(月)午前8時30分から23日(水)まで (受付時間 8:30~17:15 土・日・祝を除く)

メール 10月7日(月)午前8時30分から23日(水)まで (受付時間 随時)
(先着順 定員になり次第、締切りとさせていただきます)

※お申し込みの際にいただいた個人情報は、当サミットの申し込みのためだけに使用し、その他の目的に使用することはありません。



※長良川鉄道越美南線 美濃市駅より徒歩15分、岡崎山駅より徒歩5分
※美濃市文化会館には駐車場がありませんので、周辺の駐車場をご利用下さい

共催：美濃市、国土交通省中部地方整備局

第7回中部歴史まちづくりサミットin美濃

新時代の歴まちを創造する～令和の歴史まちづくり～

13:00 開会挨拶

13:15 「全国における歴史まちづくりの動き」

国土交通省

13:30 基調講演「歴史まちづくり法の意義と美濃市の歴史まちづくり」

越澤 明 美濃市歴史まちづくり協議会 会長
北海道大学名誉教授

【Profile】

東京大学大学院博士課程 修了、東京大学工学博士。国土交通省 社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会分科会長として歴史まちづくり法案の答申取りまとめを行う。犬山市歴史まちづくり協議会会長、長浜市歴史まちづくり協議会アドバイザー、守山市政策アドバイザー、一般財団法人住宅保証支援機構理事長、江戸東京博物館運営委員など公職歴任。鎌倉市市政功労者、国土交通大臣感謝状都市計画法制定百周年記念など表彰多数。



13:50 記念講演「高橋英樹のおもしろ日本史」

高橋 英樹 俳優・声優

【Profile】

1961年、高校在学中に日活ニューフェイス第5期として日活株式会社に入社、「高原児」でデビュー。以後「激流に生きる男」「男の紋章」シリーズ「けんかえれじい」「戦争と人間」「伊豆の踊り子」等映画黄金時代に多数出演活躍する。デビューしてから現在まで、「竜馬がゆく」「国盗り物語」等のNHK大河ドラマ、その他時代劇、現代ドラマ、バラエティ、MC等で長年にわたり幅広く第一線で活躍を続けている。また、雑誌歴史人にて掲載していた「高橋英樹の歴史通」をまとめたものが、『高橋英樹のおもしろ日本史』として出版され、第2回野村胡堂文学賞特別賞を受賞。



15:20 パネルディスカッション

コーディネーター



越澤 明

美濃市歴史まちづくり協議会会長
北海道大学名誉教授



國島 芳明

高山市長



櫻井 義之

亀山市長



山田 拓郎

犬山市長



小坂 喬峰

恵那市長



武藤 鉄弘

美濃市長



世古口 哲哉

明和町長



柴橋 正直

岐阜市長



日置 敏明

郡上市長



廣澤 一郎

名古屋市長



岡本 栄

伊賀市長



内田 康宏

岡崎市長



豊岡 武士

三島市長



松井 三郎

掛川市長



小野 登志子

伊豆の国市長



福井 祐輔

下田市長

16:55 記念イベント等

17:30 閉会挨拶

歴まちオンライン情報

中部地方整備局Webサイト

歴史まちづくり法の概要や歴史まちづくり認定都市の取り組み等について掲載しているほか、各都市の観光情報も掲載しています。



日本まんなか歴まち協議会 公式Instagram



歴史まちづくりに取り組む都市の魅力やイベント情報などを写真等で紹介しています。



■お問い合わせ

○国土交通省 中部地方整備局 建政部 計画管理課
TEL:052-953-8571 FAX:052-953-8605
E-mail : cbr-keikakukanri@mlit.go.jp

○美濃市 建設部 都市整備課
TEL:0575-33-1122 FAX:0575-31-0052
E-mail: rekimachi@city.mino.lg.jp



目次

- 基調講演 「歴史まちづくり法の意義と美濃市の歴史まちづくり」 ・ 1
美濃市歴史まちづくり協議会会長・北海道大学名誉教授
越澤 明氏

- 記念講演 「高橋英樹のおもしろ日本史」 ・ ・ ・ ・ ・ 20
俳優・声優 高橋 英樹氏

- 中部地方整備局管内における歴史的風致維持向上計画の認定を受けた
各市町の取組
 - 高山市 ・ ・ ・ ・ ・ 21
 - 亀山市 ・ ・ ・ ・ ・ 25
 - 犬山市 ・ ・ ・ ・ ・ 29
 - 恵那市 ・ ・ ・ ・ ・ 33
 - 美濃市 ・ ・ ・ ・ ・ 37
 - 明和町 ・ ・ ・ ・ ・ 41
 - 岐阜市 ・ ・ ・ ・ ・ 45
 - 郡上市 ・ ・ ・ ・ ・ 49
 - 名古屋市 ・ ・ ・ ・ ・ 53
 - 伊賀市 ・ ・ ・ ・ ・ 57
 - 岡崎市 ・ ・ ・ ・ ・ 61
 - 三島市 ・ ・ ・ ・ ・ 65
 - 掛川市 ・ ・ ・ ・ ・ 69
 - 伊豆の国市 ・ ・ ・ ・ ・ 73
 - 下田市 ・ ・ ・ ・ ・ 77

- 記念イベント 国選択無形民俗文化財「美濃流し仁輪加」 ・ ・ ・ ・ ・ 81

- 第7回中部歴史まちづくりサミット 共同宣言 ・ ・ ・ ・ ・ 82

2019年(令和元年)10月30日

第7回中部歴史まちづくりサミットin美濃 基調講演 歴史まちづくり法の意義と美濃市の歴史まちづくり

越澤 明

北海道大学名誉教授、美濃市歴史まちづくり協議会会長



大正期の美濃町の街並み、吉田初三郎画、美濃市役所所蔵

中部で歴史まちづくりサミットを開催。その後、中国、関東、近畿、東北、と広がる。

中国は山口県知事と萩市長を小生が訪問、開催を依頼。



中国地方歴史まちづくりサミット

平成25年11月11日(月) 13:00~16:45

会場：萩博物館 山口県萩市堀内355番地
 主催：国土交通省中国地方整備局・萩市
 共催：津山市・高梁市・松江市・尾道市・竹原市・津和野町
 参加費：無料(どなたでも参加いただけます)

- 北海道大学大学院 教授 越澤 明 氏による基調講演
- 歴史まちづくりに取り組む7市町の長によるパネルディスカッション
(萩市長・津山市長・高梁市長・松江市長・尾道市長・竹原市長・津和野町長)

☆参加ご希望の方は、下記項目を記入の上、Eメール又はFAXにて送付して下さい。

- ◆記載項目
 - ・氏名(ふりがな)
 - ・住所(市町村名のみ)
 - ・申込区分(個人・会社・団体・行政関係・その他)
 - ・連絡先(携帯可)
- ◆申込み先
 - 国土交通省 中国地方整備局
 - 建設部 都市・住宅整備課 企画調査係
 - TEL: 082-511-6194 FAX: 082-511-6199
 - Eメール: kenseibu@cgr.mlit.go.jp
- ◆申込み期限 平成25年10月31日(木)

※お申し込みの際にいただいた個人情報、当シンポジウムの申込みのために使用し、その他の目的に利用したり第三者への提供はいたしません。
 ※申込み者数が会場の定員を上回った場合、ご参加できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。



中国総合 2013年(平成25年)11月12日(火曜日) 中

歴史まちづくり実践報告

中国地方7市町、萩でサミット

歴史をテーマにしたまちづくりについて 発表し合う市長たち

中国地方歴史まちづくりサミットが11日、7市町の連携強化や萩の萩博物館であった。国の歴史まちづくり法に基づく歴史の風致維持向上計画の認定を受けた尾道、竹原市、津和野町の市長が、津山、松江の4市と島根県津和野町の市長による7市町の市長による

中国地方歴史まちづくりサミットが11日、7市町の連携強化や萩の萩博物館であった。国の歴史まちづくり法に基づく歴史の風致維持向上計画の認定を受けた尾道、竹原市、津和野町の市長が、津山、松江の4市と島根県津和野町の市長による7市町の市長による

パネルディスカッションで、尾道市の平谷祐宏市長は、歴史的建造物や商店街の道路の美装化、照明の工夫の取り入れ、2008年度に国の認定を最初に見つけた萩市の野村寛の補修事業などの実績を報告した。

松江市の松浦正敏市長と津和野町の下森博之町長は伝統行事の担い手不足や空き家の増加を課題に挙げた。下森町長は空き家を改修して宿泊施設にする計画も報告した。

最後に中国地方の歴史と文化をかけたまちづくりを呼びかけるなどとする宣言を7市町で採択した。(山口県報)

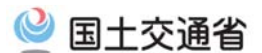
2016年12月、古都法50周年。
記念シンポを京都市嵐山で開催
“次世代への展望”

古都保存法施行50周年記念シンポジウム



左から、門川大作京都市長、京都市DO YOU KYOTO?大使 鈴鹿可奈子(聖護院八つ橋 総本店専務取締役)、東京藝術大学名誉教授・洋画家 絹谷幸二、司会:北海道大学名誉教授 越澤明、鎌倉風致保存会理事長 兵藤芳朗、国土交通省大臣官房審議官 柳野良明。
備考:敬称は省略。写真は京都市役所HP(掲載中)から転載。

古都保存に関するこれまでのあゆみ



- 昭和39年 京都市、奈良市、鎌倉市の各地において、
古都保存法制定の契機となる開発問題が発生
- 昭和40年 古都保存連絡協議会 結成
- 昭和41年 **古都保存法 制定** (京都市、奈良市、鎌倉市 古都指定)
天理市、橿原市、桜井市、斑鳩町、明日香村 古都指定
- 昭和55年 **明日香法 制定**
- 平成 8年 京都市の歴史的風土特別保存地区 約2倍に拡大
- 平成12年 逗子市 古都指定 【鎌倉時代の「切り通し」を保存】
- 平成15年 大津市 古都指定 【現時点では最後の古都指定】
- 平成20年 **歴史まちづくり法 制定** 【古都法40周年、全国展開】
- 平成28年 **古都法制定50周年記念シンポ** 【京都市で開催、司会】

備考:国交省パワポに越澤加筆。下線に越澤教授が参画。

● 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律案

【歴史まちづくり法案】平成20年1月閣議決定、5月法律成立 <予算関連法案>

◆歴史的価値の高い国民共有の文化的な資産

+

◆地域の歴史・文化を反映しつつ、営まれる人々の活動

歴史的風致

保全

古都保存法

文化財保護法

景観法・都市計画法

地域の活力の源でもある
歴史的風致を著しく損なう
事例が数々発生

文化財行政
(文化庁)



まちづくり行政
(国土交通省・農林水産省)

歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針の策定(文科省・農水省・国交省が共同)

市町村による歴史的風致維持向上計画の策定

歴史まちづくりを進める市町村の認定
(文科省・農水省・国交省が共同で認定)

▶屋外広告物規制、都市公園や緑地の管理等について、市町村に権限委任

重要文化財等と一体で歴史的風致を
形成する建造物の復原・再生

歴史的風致を活かしたまちなみの再生

- ▶市町村が指定し、届出勧告制などにより保全
- ▶管理・修理について文化庁が技術的指導
- ▶農用地区域内の開発許可基準に歴史的な農業用水路・水門等を保全するための特例を設ける

- ▶住宅地の規制のまま、歴史的な建造物を飲食店や工房等に活用できる地区計画制度を創設
- ▶電線共同溝を整備できる道路の範囲を拡大し、無電柱化を促進

建造物の復原・修景のための新事業の創設、
まちづくり交付金や公園事業の拡充等により強力に支援

地域にとって貴重な財産である歴史的風致の次世代への継承



自己紹介 歴史・文化のまちづくりとの関わり

①国のまちづくり、古都保存の審議会に、長く在任していました。

1997年～2001年、総理府 歴史的風土審議会専門委員

中央省庁の再編の際に、国の審議会も統合

2001～2011年 国土交通省 社会資本整備審議会 委員

都市計画、歴史的風土、住宅宅地、河川などの分科会に所属。

2005～2009年 社整審 歴史的風土部会 部会長

(備考)旧・歴史的風土審議会議長に相当

歴史まちづくり法案を審議した2度の小委員長、4年間。

2009～2011年 社整審 都市計画・歴史的風土分科会分科会長

(備考)旧・都市計画中央審議会議長に相当

2006～2011年 社整審 住宅宅地分科会長

(備考)旧・住宅宅地審議会議長に相当

②例えば、近畿地方の自治体とのご縁(景観、歴史まちづくり、文化財など)

大津市 都市計画審議会 景観形成委員長(古都指定、景観条例の制定)、

富田林市 (大阪府唯一の重要伝建地区) まちづくりアドバイザー

長浜市 歴史まちづくり協議会アドバイザー

※現任

守山市 政策アドバイザー(大庄屋の保存活用の委員長など)

※現任

近畿歴史まちづくりサミットin彦根、基調講演

- ・平成16年(2004年)、大津市に古都指定。(現時点では、最後の古都指定)。
- ・経緯は、マンション問題頻発→山田市長からの依頼。市幹部と市議会の勉強会。
- ・越澤教授の提案・処方箋は、古都(近江令を制定)である都としての誇りを持った 質の高い景観まちづくり。法定審議会で政策作り、市議会との協調。
- ・大津市は、ぎりぎり古都法の適用で対処できた。他の都市ではどうしたらよいか？

大津の景観 どう守り、どう進める 条例化へ審議会が初会合(京都新聞:2002.07.1... 1/1 ページ

Kyoto Shimbun 2002.07.15 News

ホーム>ニュース目次

大津の景観 どう守り、どう進める 条例化へ審議会が初会合



大津市の古都指定や景観条例のあり方を審議する市都市景観審議会の景観形成専門委員会(委員長・越澤明北海道大学院教授)は十五日、同市柳が崎のびわ湖大津館で初会合を開き、今後の議論の進め方などを話し合った。

専門委員会は、木村至宏成安造形大学長や滋賀県立近代美術館の岩田由美子主任学芸員ら六人で構成している。委員らは近江大津宮跡や坂本地域を視察したあと専門委を開催。「市民が景観を守ろうと思うための情報共有化が大事」、「個々の社寺や遺跡など市内に拠点は多いが、一体の大津という空間に結び付けるイメージが欠けている」などの意見が出た。

また市は、市のホームページに景観のコーナーを設け、市民が意見や課題を書き込めるようにすることを説明した。

▽古都指定は景観施策全体の骨

大津市都市計画審議会の越澤明・景観形成専門委員長(北海道大教授)は十五日、記者会見し、同市が古都保存法に基づいて進める古都指定について「都のあった自治体では最後の指定になるだろう。古都指定は市の景観施策全体の骨となる」と話した。

越澤氏は市の景観の現状について「重層的な歴史の蓄積と交通利便性、琵琶湖と山並みが潜在的な都市の魅力や活力となり、人口が増え続けている。それが新たな高層マンション建設の問題を生んでいる」と、良好な景観自体が景観問題を起す難しさを指摘。

また景観施策を進める上での市民参加や情報公開について「並木の維持管理をどうするか、塀を生け垣にするのか、など景観形成は市民にも手間暇かかる。行政が選択肢を発信するのが重要で、その上で琵琶湖を意識した景観づくりをどうするか、市民の努力も大切だ」と強調した。

写真=記者会見する越澤明氏

ニュース目次 | ジャナル別 | バックナンバー | お悔やみ(京都・滋賀関係分) | 高校野球速報 | ホーム



2008年(平成20年)5月、熊本城の築城400年記念。市民の悲願、西南戦争で焼失した本丸御殿を木造で復元。財源は国土交通省、復元は熊本市教育委員会という協力関係で実現。形が見える復元は絶大な意義、観光資源。本丸御殿は、都市公園の「体験学習施設」扱い



福岡市とのご縁20年前、緑の基本計画の策定時、改定時の委員。北九州の炭鉱王は、伊藤伝右衛門(飯塚市で本邸公開)、麻生太吉、貝島太助。福岡市内の貝島邸(ひと山)を福岡市は緑地として買収、但し、屋敷は利活用が出来ないとの判断で、大半を取り壊し。撮影は10年以上前。一方、復元した伊藤伝右衛門邸は評判になる。



歴史まちづくり法が必要であった理由

別府市は九州で最初の景観行政団体。別府市の浜田市長に越澤教授が面会して直に進言、即決。大分県庁への事務手続きも越澤教授が助言。しかし、景観行政のみでは、歴史的に重要な民間建築の買取り、活用は困難と、痛感した。国の審議会でも越澤発表パワポの1つ、2005年1月27日大分合同新聞(夕刊)

1979年、赤銅御殿(伊藤伝右衛門の別荘)は解体消滅。

下の写真は渋沢栄一と並ぶ財界人、和田豊治邸は、浜田市長は公園化不可能と判断、所有する大企業が解体した。同じ時期、に旧麻生別荘の戦後所有者が敷地をミニ開発した。平成28年度に別府市長野市長は赤銅御殿復元調査を実施。



別府市が「景観行政団体」に

湯煙保全へ弾み

別府市は、県の指定を受け、景観法(平成十一年法律第百八十七号)で定められた景観行政団体になった。これにより、湯煙等の自然景観の妨げに支障を及ぼす開発行為、法に基づいた命令を受けることになる。政令指定都市や中核市を除く市町村では全国九つ目で、九州では初めて。

別府市は、県の指定を受け、景観法(平成十一年法律第百八十七号)で定められた景観行政団体になった。これにより、湯煙等の自然景観の妨げに支障を及ぼす開発行為、法に基づいた命令を受けることになる。政令指定都市や中核市を除く市町村では全国九つ目で、九州では初めて。

別府市は、県の指定を受け、景観法(平成十一年法律第百八十七号)で定められた景観行政団体になった。これにより、湯煙等の自然景観の妨げに支障を及ぼす開発行為、法に基づいた命令を受けることになる。政令指定都市や中核市を除く市町村では全国九つ目で、九州では初めて。

乱開発・建築を法規制 ルールづくり着手へ

別府市は、県の指定を受け、景観法(平成十一年法律第百八十七号)で定められた景観行政団体になった。これにより、湯煙等の自然景観の妨げに支障を及ぼす開発行為、法に基づいた命令を受けることになる。政令指定都市や中核市を除く市町村では全国九つ目で、九州では初めて。

歴史まちづくり法が必要であった理由

松阪市の小津清左衛門邸。三井家と並ぶ伊勢商人豪商、江戸店持ち、1700年頃の建物。相続で三分割・転売の後で、市が3分の2を取得、県文化財に。3分の1は個人が取得し鉄筋コンクリート造。小津家の遺品・家財道具・衣装は一切無し。国の審議会で越澤発表パワポ。20年以上前に、三重県景観指針の策定の座長を依頼された。策定後に、県知事は景観は市町村の仕事で、県は財政支援せずと判断し、県支援施策は廃止され、三重県景観指針はお蔵入り。2018年に、松坂市は保存4邸の指定管理者募集を開始した。なお、映画監督小津安二郎は江戸の分家筋の末裔。

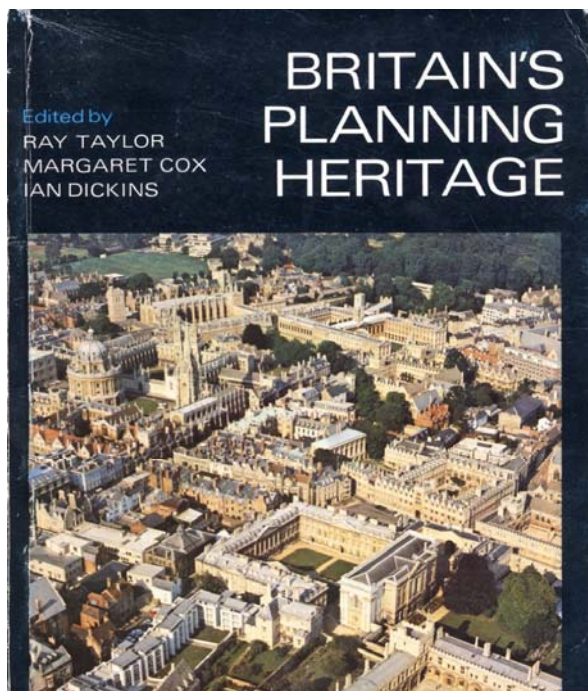


名古屋一の豪邸、揚輝荘

松坂屋創業者の伊藤祐民邸(第15代伊藤次郎左衛門)。数年前から2屋敷を公開。敷地の中央部はすでにマンション建設済み。2箇所を繋ぐ公有地(提供緑道)が無いことが、市民利用、観光資産として欠陥で、問題。約20年前に歴まち法の考え方が行政にあれば、もっと上手に、マンション開発と重要建物保存を調整できたかもしれない。



越澤教授が影響を受けた良書。1975に出版、 『イギリスの都市計画遺産』



イギリス政府観光局と王立都市計画協会が共同編集。
宮殿、庭園、邸宅、田園都市、工場、城壁まで、広く取り上げる。

美しい都市空間は、都市の魅力、競争力の源泉である。市民に誇り。観光資産であり、大きな経済効果をもたらす。

BRITISH TOURIST AUTHORITY

in association with

THE ROYAL TOWN PLANNING INSTITUTE

古都法都市でも、歴まち法で適用で、新たな施策が可能。京都市では、花街(上七軒)の稽古場を国庫補助で修理した。鎌倉市では、2017年開館した鎌倉市歴史文化交流館。旧岩崎小弥太郎邸跡地に赤尾好夫が別荘(設計はノーマン・フォスター卿)。赤尾氏財団から土地・建物を市に寄附。敷地は古都保存法に指定。鎌倉市歴史文化交流館の近くには、以前から女性に人気のお店がある、公と民が自然に役割分担し、共存共栄の関係。



群馬県の小さな城下町、甘楽町(かんら) 小幡。織田信長の直系(三男信雄)が藩主。歴まち認定後に、道の駅を改修。甘楽町の茂原町長。第1回の関東歴まちサミット、甘楽町で開催。文化庁事業、国史跡庭園の復元完了。国交省補助で、織田公(歴代6人)墓所周囲の公園化、歴まちで事業中、まもなく完成。



甘楽町、敷地と水流の保存状態が良い武家屋敷が2棟。8年前に訪問、お二人とも当主は歴まち法を喜ぶ、その後、死去された。元中級武家屋敷の復元が完成。元勘定奉行の大邸宅も、将来、町の支援策が必要になる可能性有り。



歴まち法を運用する全国各地の先行都市の取り組み。
施策を上手に組み合わせ、重層的に、持続的に展開している。

1 文化庁系の施策と支援。重伝建、重要文化的景観。

高山市は伝建を大幅拡大した、指定考えを転換。建物が無くても指定。

2 国交省系の施策と支援。国の文化財になっていない老舗建物(現役、廃業の両方で)、朽ち果てかけた下級武家屋敷の買い取り・修復。掘り割り復元。城址で御殿建築の復元。萩は高札場復元(商業密集地で用売)。

3 自治体内の組織と人の連携。都市計画(景観、公園)、中心市街地の活性化・観光、文化財が連携できるようになった。

4 歴まち認定を通じて、歴史・文化の価値観、自治体の都市政策が確立。何が大事か共通認識。いざという時に実行可能(急な相続、災害発生)。

5 文化財行政では困難であった掘り割り(亀山)、堤(宇治)、文化財橋梁(美濃)、大型木造校舎(萩)の保存活用が、可能になり始めた。

6 自治体が支援できなかった老朽宗教施設、花柳界建築への支援が可能になった(京都の花街稽古場、萩や彦根の社寺など)

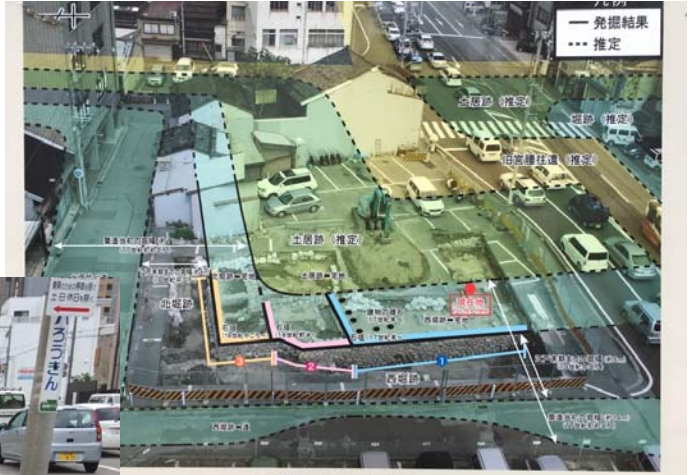
7 意欲ある民間(老舗の後継者、商工会議所、地元の建築士会、若手の大学教員・院生など)の活動支援、活性化。国の全額国費調査は有意義。

金沢市の歴まち事業。保存と移築をセットで。都心繁華街に1軒のみ現存する木造の豪商町家。。歴まち事業でなければ、買い取り、保存は到底不可能。学生の活動に無料使用。敷地の一部は既に転売され飲み屋街(新天地)。また、10年解体保存していた大料亭の大広間を移築、再現した。



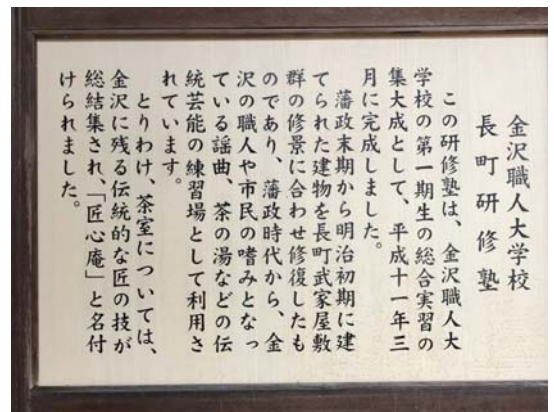
金沢市、城下町の骨格を見せる、総構え堀を部分的に、さまざまに復元。

- ①築城当時の素掘りに戻す。②交差点の広場として用地買収、スポット的に復元。
- ③10年以上かけて用地買収、土塁(升形)を復元。地価が高い中心市街地で実行。



金沢市、①東茶屋(重伝建)の近く、町家の消滅。所有者は奥に建て替え、手前を部分保存、市の斡旋、若手工芸家の工房。寺院と共に重伝建に追加指定。

②長町の武家屋敷、著名な観光名所。1棟を金沢市が取得、職人大学に。職人の養成、市民利用、庭園を観光客に無料開放。



金沢城の復元整備、段階的で、持続的な取り組み。1868年、多くの建物取壊し、1868～1945年、軍隊駐屯地。1949年～1994年、国立金沢大学。1990年代以降、金沢城の復元調査を開始。2003年、堀を埋めた跡地にあった県庁移転、堀の一部復元。河北門の復元、さらに玉泉院丸庭園の復元完成、鼠多門の復元工事中。



金沢城、藩主夫妻のための庭園。1634年建設開始、1868年まで存在。その後、放置埋もれる。近年、発掘調査を経て、2015年に復元。石垣と一体の雄大な景観が出現。現在、鼠多門の復元工事中。



高岡市の歴まち事業。1959年別の場所に御車山の収蔵庫（小規模、老朽化）。1960年文化庁重要民俗資料（現・重要有形民俗文化財）。2000年伝建地区の指定。2011年歴まち法認定。重伝建地区に広い土地を取得、「高岡御車山会館」を新築、2015年竣工。2016年ユネスコ世界無形文化遺産。

写真左2点は高岡市御車山会館HPより、右は越澤撮影。



国の新たな取り組み

「明治150年」関連施策における歴史的遺産の保存・活用の取組

- ・平成30年は明治150年に当たることから、政府は関連施策各府省庁連絡会議を設置し、平成29年7月に「明治150年」関連施策の中間とりまとめを実施。
- ・内閣官房は、明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討を行うため、有識者検討会（越澤は委員）を開催、平成29年6月に報告書を取りまとめ、関係府省庁に施策の検討を依頼。
- ・国土交通省はこの報告書を踏まえ、明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産である旧伊藤博文邸等を中心とする建物群及び緑地の保存・活用を図るため、国と地元地方公共団体と役割分担のもとで、神奈川県大磯町において「明治記念大磯邸園（仮称）」を整備する施策を中間とりまとめに位置づけている。



「明治150年」関連施策 中間とりまとめ (抜粋)
平成29年7月14日 「明治150年」関連施策各府省庁連絡会議決定

施策名
明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のための明治記念大磯邸園（仮称）の整備

施策の概要
「明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討会」の報告書を踏まえ、関係府省と連携し、地元の地方公共団体（神奈川県、大磯町）等との適切な役割分担のもと、神奈川県大磯町にある旧伊藤博文邸等を中心とする建物群及び緑地を「明治記念大磯邸園（仮称）」として整備し、建物群等の一体的、有機的な活用を図る。

出典: 明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討会報告書 (平成29年6月)

世の中の価値観の変化。歴史と文化を楽しむ、体験、味あう。明治記念館金鷲の間（明治宮殿の唯一の現存建物）を活用。2017年に実施、饗宴と音楽会を再現し、女性に好評。



明治記念館開館70周年特別企画

明治宮廷のダイニングホール

～よみがえる近代の饗宴～

総合格場として知られる明治記念館の本館「金鷲の間」は、明治6年(1873)に西ノ丸皇居(旧江戸城)が焼失してから明治22年(1889)に明治宮殿が完成するまで、明治天皇と皇后がお住まいになった「赤坂御所」内にあった建築物です。当時の名称は「御会食所」とされ、天皇・皇后両陛下が外国の賓客をもてなすための明治14年(1881)に造られた宮中晩餐の舞台でした。昭和22年(1947)に閉館した明治記念館は、本年開館70周年を迎え、明治天皇と昭憲皇后による宮廷外交の舞台となった「赤坂御所居会食所とその時代」をふり返る企画展示と記念催事を行います。

企画展示
明治宮廷のダイニングホール

お申込みは不要



- 非歴まち認定で、頑張る都市の例。発想と取り組みは、歴まち法の理念と同じ。
- ・富田林市＝大阪府で唯一の重伝建地区。全国でも有数の寺内町が現存。浄土真宗の寺院(興正寺)と門徒衆(豪商)で町を形成。
 - ・越澤教授は、寺内町まちづくり、活性化、具体化を助言、講演、約10年間。
 - ・反対が多い駅前再開発を中止し、駅前広場のみを実施。好評、意味あるインフラ。
 - ・寺内町で、年に4回に限定して、イベント<四季物語>を開催、実施。お雛さま公開からスタート。予想以上に好評。地元で毎年やる気が高まる。
 - ・約10年前から、5年間で、店舗がゼロから30数件に、みるみる増加。



白河市、平成23年2月歴まち認定、翌月に東日本大震災
 歴まち認定取り組みの蓄積 → 早期の復旧が可能
 【歴史的風致の維持向上に資する事業】

■ 史跡等整備…小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業



《本丸南面石垣》

- ① 崩落直後 (H23.3)
- ② 崩落石材撤去後の見学会 (H24.9)
- ③ 復旧後 (H27.3)

備考：白河市役所作成パワポに加筆

白河市、平成23年2月歴まち認定、翌月に東日本大震災
 歴まち認定取り組みの蓄積 → 早期復旧、事業実施が可能

■ 景観・歴史的建造物等の修景 …歴史的風致形成建造物保存修景事業
 備考：白河市役所作成パワポに加筆

旧奥州街道や歴史的街路沿道に所在する歴史的な建造物について「歴史的風致形成建造物」に指定し、建造物の外観修景、内装整備等に対する支援を行い、その保存と公開活用を図る。

指定建造物	39件、97棟
保存修景の実績	30件、39棟
うち震災被害の回復	25件、33棟

修景前



修景後



大津市、町屋の取り壊し、マンション化。近年、町屋を改修し、高級和風ホテルに、丹波篠山のノウハウ活用。美濃市も導入。



越澤名誉教授は、長浜歴史まちづくり協議会アドバイザー
「長浜まちづくり会社」が長浜一の豪商(安藤家、無名時代の魯山人のパトロン、モダンな茶室デザイン)を所有者に代わり管理・公開。
空き屋の実態調査(越澤提案で)。一般的な空き家の修復、斡旋にも取り組む。



犬山市の歴まち事業。市の公共施設の再編と連動。2018年3月竣工、市立体育館を移転建て替え、跡地は広場。国宝の天守(斜めから天守が見える新たなアングル)と木曾川も見える。人力車も登場。犬山祭りにも活用。実は、江戸時代は西御殿。重要な場所、市有地。



2007年、犬山市、本町通り、電線地中化、見る見る訪問者が増加、町家の修理・活用(民間投資)が始まる。次の取り組みは、老朽した市民会館(赤丸点線)の解体・機能移転、発掘調査。この敷地は実は大手門の場所、史跡予定地、重要な市有地。国宝天守(矢印)が、もっとよく見えるようになる。今後も、息の長い取り組み。



2年前に犬山市、歴史まちづくり賞を創設。対象は、行政の支援無し、自己努力で町家を維持している優良事例。2年で10箇所を表彰。市の広報にも掲載、所有者・賃貸者から喜ばれる。



美濃市。誇り高き小都市。平成合併を選択せず。歴史と文化に価値を見いだす。高山藩を築いた金森長近、晩年の加増2万石、築城、上有知藩。川湊を整備（飛騨と尾張の中間点）。約10年前、美濃市訪問の際に、市長に歴史まちづくり法をご紹介、即決即断、美濃市歴史まちづくり協議会長に。金森長近の出身地は滋賀県守山市金ヶ森。守山市、大野市、高山市、美濃市など、歴史のご縁で連携を深めては。守山市図書館に高山から金森氏資料寄贈あり。



美濃市 卯建があがる建物の集積では、全国で有数。
 2003年3月電線地中化工事、2019年3月、同一地点越澤撮影。
 街並みと山並みの景観が出現。



美濃市の歴史的街並みでは、女性が「旦那聚」として頑張る。老舗米屋の娘さんが、パン屋兼カフェママ。好評で、遠方からも。別のお店では、着物の着付け、貸し出しを行う。お二人の女性は、美濃市歴史まちづくり協議会の委員にも就任。提灯製作の後継者も女性。



美濃市歴まち、市が所有する豪商邸宅、民活での活用を開始。

1年前、歴まち計画を改定、農水省補助金(農泊事業)導入。市に寄付された旧松久邸、市が歴まち事業で買収した旧須田邸、2棟を高級和風ホテルに。まず旧松久邸、今年夏に完成。丹波篠山のノウハウ導入、地元有力和紙会社が共同起業。



今後への期待

- 歴史まちづくり全体展示(ジオラマ)の場所、郷土史教育。
- 地場産業の復興、職人の後継者。場の維持と人づくり。お酒・味噌造り。木工、漆器など工芸。木造建築と植木お庭造り、石積み。
- 町屋取り壊しの防止は、住んで頂くしかない。特に、空き家の仲介(信頼できる借り手探し)と修復(私有財産への補助)の公益性。
- 災害の復旧・復興の備え。損傷町屋・蔵を残せるよう事前リスト化、簡便調査、働きかけ(特に不在者)。一方、解体は全額国庫補助。
- シンボルの復元。城門、櫓、御殿。掘割り。脇本陣、会所など。
- 農泊に続き、農水省系の施策・支援策が、もっと出てきて欲しい。
湧水・水路・溜池の保全活用、棚田、伝統産業の作業場の修復、酒米、茅葺き農家の修復、漁村風景・漁村建築の保全奨励など、
- 無名の外国人ファンを大事に。風景、暮らし、食文化も含めて。美しい街並み=食べ物美味しい。外国人女性の英語情報発信の影響に関心。無名多数の現代のイサベラバード(明治の旅行家)として。Youtube
- 地名・産品ブランド化、価値保全。中国語、英語で商標登録必要。

○ 記念講演 「高橋英樹のおもしろ日本史」

高橋英樹氏 プロフィール

生年月日：昭和19年(1944年)2月10日

出身地：千葉県木更津市

出身校：日本大学 芸術学部

高校在学中の1961年5月、日活ニューフェイス5期生として日活入社〔高原児〕でデビュー。以後〔激流に生きる男〕〔男の紋章〕シリーズ〔けんかえれじい〕〔戦争と人間〕〔伊豆の踊り子〕等映画黄金時代に多数出演、その後、EX〔遠山の金さん〕NTV〔桃太郎侍〕EX〔三匹が斬る〕等にて活躍する。

NHK大河ドラマ「篤姫」島津斉彬役、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」児玉源太郎役 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」井伊直弼役他 現代劇ではEX「トラベルミステリー・十津川警部シリーズ」「リーガルV」など出演多数。俳優として活躍する一方、多くのバラエティ番組にも出演。

NHKEテレ「高校講座日本史」ではMCも手掛ける。

著書「高橋英樹のおもしろ日本史」(KKベストセラーズ)では、野村胡堂文学賞特別賞受賞

【メモ欄】



高山市

歴史と伝統文化が息づくまち

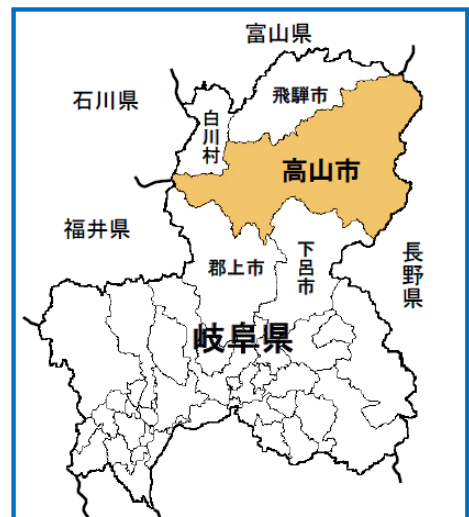


高山市①

高山市の概要

高山市は岐阜県の北部、飛騨地方の中央に位置する日本一広い自治体で、面積は2177.61km²、人口は約8万9千人である。

豊臣秀吉の命によって約430年前に飛騨を平定した金森長近が、商人の経済力を重視した高山城下町を形成して以来、高山は、京文化や江戸文化を取り入れながら飛騨の政治、経済の中心地として栄え、その長い歴史の中で様々な伝統文化を育んできた。



主な歴史的風致

1. 城下町の地割

金森時代の地割が今も残る旧城下町には、江戸時代の面影を残す町家が建ち並び、そこで発展した様々な伝統文化が今に継承されている。



2. 高山祭の屋台行事

高山祭は江戸時代の初め頃を起源とし、屋台組の人々の強い思いと誇りによって、絢爛豪華な23台の屋台が今も保持され、祭礼行事を彩る。



3. 東山寺院群

金森氏により、城下町の東の山裾に建立・移築された数々の寺院が今も残り、松倉絵馬市をはじめとする年中行事が脈々と受け継がれている。

ひだのたくみ



4. 飛騨匠の技と心

古代に、飛騨の優れた木工技術者を都へ派遣するよう定めた全国唯一の制度があり、その技術や感性は伝統工芸などに受け継がれている。



歴史まちづくりの主な取組み

1. 拠点施設の整備

土蔵を活用した歴史・美術展示施設、空家等を活用した伝統文化の体験交流施設を整備。



2. 無電柱化事業

町並み景観を阻害している電線等を地中化するとともに、車道、側溝等について美装化。



3. 建造物修景補助事業

市街地景観保存区域内の建造物や景観重要建造物の外観修景等に要する経費を助成。



4. 担い手支援事業

地域内外から支援者を募って伝統行事等の人材を確保する仕組みの構築を図る。





亀山市

日本の東西を結ぶまち



亀山市①

亀山市の概要

亀山市は、三重県の中北部に位置し、県内の主要都市である津市や四日市市、鈴鹿市からは20キロメートル圏内に、名古屋市から約50キロメートル、大阪から約100キロメートルに位置しています。

亀山市の歴史は古く、伊勢国の鈴鹿関は、越前国の愛発、美濃国の不破とともに古代三関と呼ばれ、都と東国を結ぶ交通の要衝として栄えてきました。

○人口 49,723人(令和元年10月1日現在)

○総面積 191.04平方キロメートル



亀山市②

亀山宿、関宿、坂下宿



亀山宿は、東海道の江戸から数えて46番目の宿で、伊勢亀山藩の城下町であった。家数567戸、人口1549人で、本陣1、脇本陣1、旅籠屋21があったとある。



関宿は、東海道の江戸から数えて47番目の宿で、家数632戸、人口1942人で、本陣2、脇本陣2、旅籠屋42があったとある。宿場は、東西1.8km、約200棟の伝統的建造物が残る。



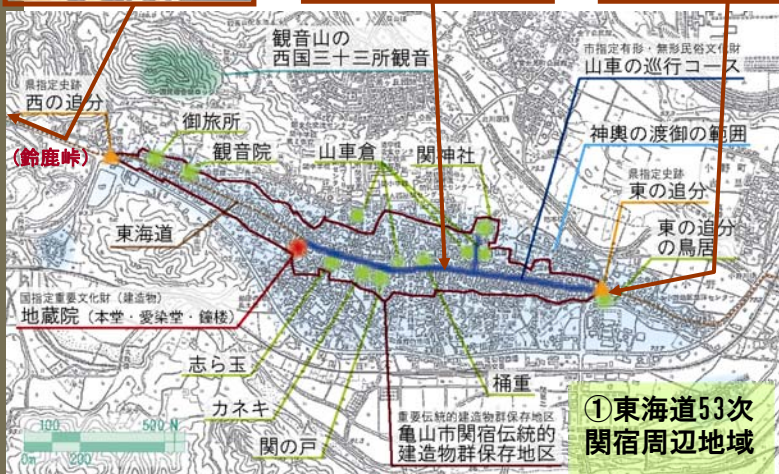
坂下宿は、東海道の江戸から数えて48番目の宿で、家数153戸、人口564人で、本陣3、脇本陣1、旅籠屋48があったとある。全戸数に対する旅籠の割合は34%と箱根宿の45%に次ぐ高率で、大いに賑わったようである。

亀山市の歴史的風致の維持及び向上に関する方針

○亀山市の維持向上すべき歴史的風致

亀山市は、東海道・大和街道・伊勢別街道などにより、「東西文化の接点」として多くの旅人たちを迎えてきた。旅人たちによってもたらされた様々な文化の中で、亀山の気候風土や慣習に合ったものがこの地に根付き、長い年月の中で少しずつ姿を変えながら現在の亀山市固有の歴史的風致を形づくっている。亀山市の歴史的風致は、そこに生活する人々と往来する人々の相互の交流によって生まれ、育まれ、今に伝え受け継がれてきた「街道文化」そのものであるといえる。

亀山市③

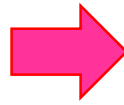


亀山市④

亀山城の整備(江戸時代の姿に復原)



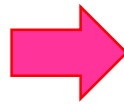
平成19年4月 地震により崩落した石垣



平成23年6月 土居として復旧復原



明治30年以降繰返し改変された多門櫓



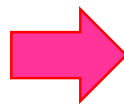
平成25年 18世紀後半の姿に復原

亀山市⑤

亀山城下町と亀山宿の整備



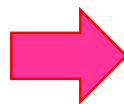
加藤家主屋 修理前



修理後(平成25年度)



旧佐野家住宅 修理前



修理後(平成27年度)

関の山車会館オープン

令和元年7月6日(土)に市の有形・無形民俗文化財である「関の山車(やま)」の保存や祭ばやしなどの伝承活動の拠点として、「関の山車会館」を開館しました。



伝承活動 ～祭ばやし

毎年7月に開催される関宿祇園夏まつりは、きらびやかな見送り幕やローソクで灯をともした提灯で飾られた山車が曳き出され、人々がおはやしの演奏や山車曳唄で一層盛り上げる伝統ある行事です。





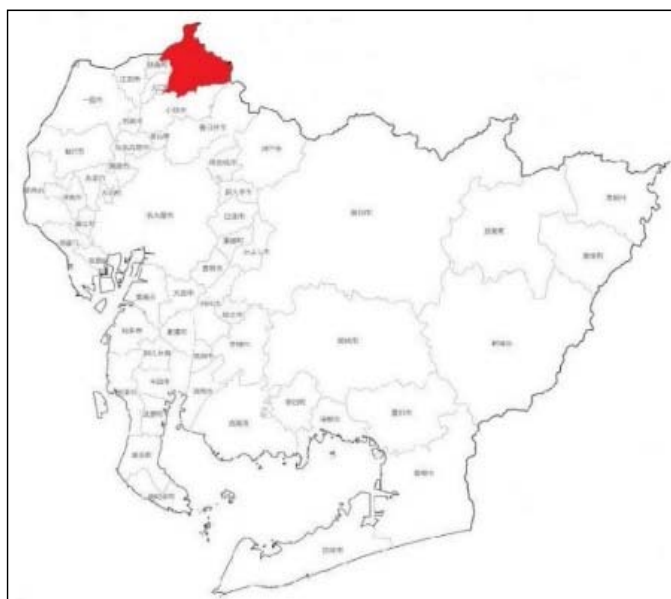
犬山市

～本物を求めて犬山へ～



犬山市①

犬山市の概要



○市制施行
昭和29年4月1日(犬山町、城東村、羽黒村、楽田村、池野村の5町村が合併)

○人口
人口73,932人
(令和元年9月1日現在)

○位置
愛知県の最北端に位置し、名古屋市、岐阜市まで電車で25分、名神・東名高速道路小牧インターチェンジから11km

○面積
74.97平方km

犬山市の歴史と文化財

犬山は、木曾川から幾筋かに分かれる川の流れによってできた木曾川扇状地の扇頂部に位置し、その肥沃な環境によって縄文・弥生時代から人々の暮らしが営まれ、水陸の交通の要所として発展してきた。

江戸時代には犬山街道が整備され、人々の往来で賑わった。犬山城の城下町として栄えた城下町地区は、犬山城や茶室如庵などの国宝、ユネスコ無形文化遺産の犬山祭をはじめ、伝統的な町家の町並みや歴史的・文化的に価値の高い町割りや木戸跡などが数多く残されている。

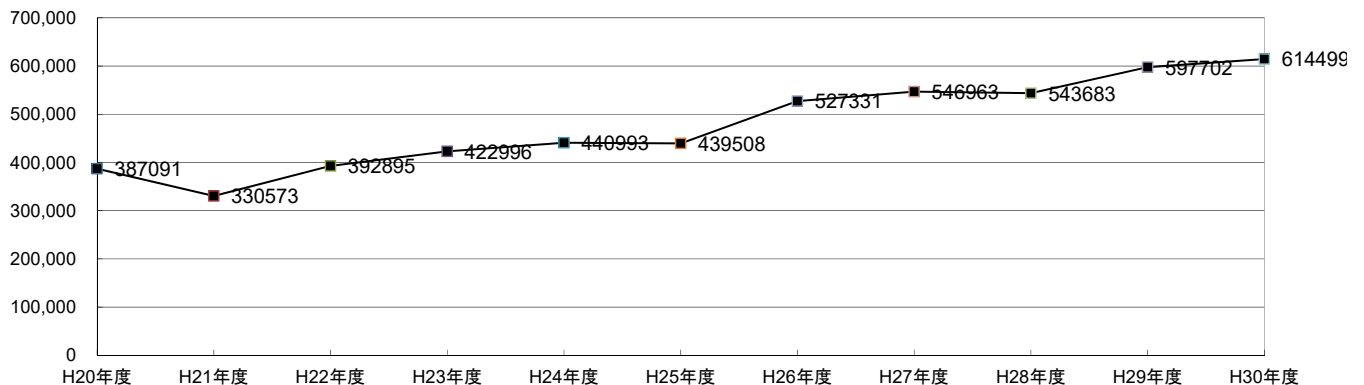


観光客数の推移

平成30年度の犬山城登閣者数は、対前年度比2.8%増の614,499人となり、平成20年度と比較すると58.7%の増加となっている。

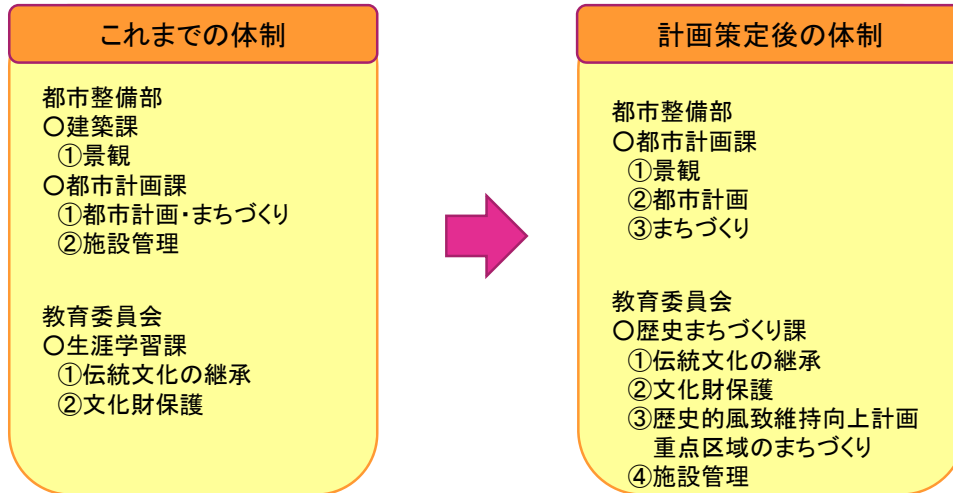
平成28年度以来歴代1位を更新し続けており、名古屋鉄道とのタイアップやこれまでの歴史まちづくりの取組の成果が見られる。

犬山城登閣者数の推移



歴史まちづくりの方針及び特徴 ～体制の変化～

- 犬山市歴史的風致維持向上計画実現のために、まちづくりと文化財の保存伝承を同じ部署で一括して行う必要があると判断。
- 平成21年4月より、教育委員会に「歴史まちづくり課」を新設した。



犬山市の維持向上すべき歴史的風致

01. 犬山祭にみる歴史的風致

江戸時代の武士や商人たちの暮らしぶりを想像させる町家が点在する城下町。そこで繰り広げられる犬山祭では、町民たちの結束力によって車山の曳き廻しやからくり奉納が行われ、歴史的な町の趣を一層際立たせる。



02. 犬山城と町衆文化にみる歴史的風致

幾多の廃城の危機を乗り越えてきた犬山城。城主と町民によって生み出された町衆文化とともに、今も人々に愛され、その心が受け継がれている。



03. 木曾川周辺にみる歴史的風致

人々は昔から木曾川の恩恵と自然が生み出す癒やしを受けながら生活してきた。それは350年以上続く木曾川うかいの継承とともに今も変わらぬ伝統の風景である。



04. 古代『瀬波』地域の古墳群とその周辺にみる歴史的風致

犬山はその肥沃な土地と自然環境により、古代から人々の暮らしが営まれ、数多くの古墳が造られた。今もその多くが残されており、それを守ろうとする人々の活動とともに、犬山の歴史を伝えている。



05. 石上祭にみる歴史的風致

年に一度、尾張富士に力自慢が結集し山の頂上に巨石を上げる石上祭。頂上に積まれた数千の石や参道の献石群には、先人たちの尾張富士に寄せた祈りが刻み込まれ祭を継承する町民の活動とともに、自然と神社と地域とが一体となった歴史的風致を伝えている。



06. 地域の祭礼にみる歴史的風致

「豊かなもりのまち」犬山には、里山や田園などの自然が豊富にあり、その自然に感謝し、自然と共生していく中で始められた慣習や祭礼が今も各地で継承されている。



主な取り組み

○ 道路美装化・電線類地中化事業

城下町地区の景観をよくするため、平成17～21年度にかけて道路の美装化と電線類の地中化を実施した。



美装化前



美装化後

○ 国登録文化財等修理助成事業

重点区域内にある国登録有形文化財(建造物)や伝統的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、修理費の一部助成を行うことにより地域の歴史資産として保全を進めている。



修理前



修理後

これまでの主な成果と今後の展開

1. 城下町の景観の改善

城下町内の電線地中化及び道路美装化や歴史的建造物の修理・修景に対する助成、旧犬山市体育館の撤去等により、目に見える形で景観の改善がなされ、歴史的風致の向上が図られた。



2. 官民一体となったまちづくりの展開と後継者育成

歴史的建造物や地域の祭礼行事を継承し、歴史的風致の継続的な維持向上を図るため、官民一体となった取り組みを推進し、さらに、行政と地域が連携して、伝統文化を受け継ぐ後継者を育成していく。





恵那市

人・地域・自然が輝く交流都市



恵那市岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)

恵那市①

恵那市の概要



○位置

岐阜県南東部に位置し、愛知県と長野県に隣接した、豊かな自然に恵まれた地域

○人口

50,200人(平成31年4月1日現在)

○面積

504.24km²

○交通

JR中央本線、明知鉄道、中央自動車道、名古屋市の中心部からおよそ60km

○観光

恵那峡、城下町岩村、岩村城跡、日本大正村

恵那市の維持向上すべき歴史的風致

○城下町岩村の歴史的風致

屋敷町屋分間図



本通りの町並み



岩村町秋祭り



主要部分が重要伝統的建造物群保存地区に選定されている岩村町は、岩村城を中心に繁栄した。現在でも岩村町秋祭り(県重要無形民俗文化財)が町並みとともに受け継がれている。

○中山道大井宿村の歴史的風致

武並神社(国重要文化財)や中山道大井宿では、武並神社例大祭や七日市が町並みとともに受け継がれている。

武並神社例大祭



七日市



○寒天製造の歴史的風致

寒天の乗った寒天棚が山岡の冬の風物詩となっており、伝統の技によって山岡の細寒天は受け継がれている。

寒天干場の風景



○中馬街道・明知の歴史的風致

明智町は、「日本大正村」として多くの歴史的建造物を残している。八王子神社の例祭等の祭礼は、町の繁栄とともに盛大となり、現在まで受け継がれている。

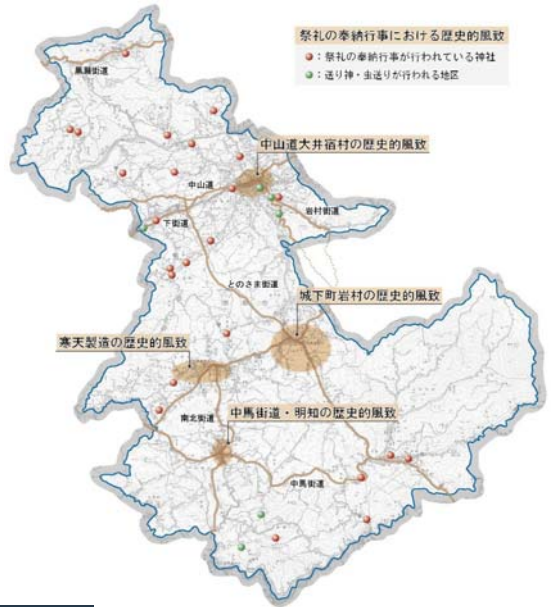
八王子神社の例祭



○祭礼の奉納行事における歴史的風致

農村集落では、太鼓や獅子舞等の様々な奉納行事や、地歌舞伎といった伝統芸能が受け継がれている。

地歌舞伎



重点区域

○城下町岩村地区

岩村町は岩村城跡の山麓に旧城下町を母体とする市街地が展開しており、主要部分が重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。沿道には歴史的建造物が多くみられ、県・市指定部文化財も恵那市内で特段に多い地区である。

【岩村町本通り】

延長1.3kmの町並みであり、建築物186件、工作物23件が伝統的建造物に選定されている。本通りをねり歩く岩村町秋祭りの神輿渡御行列の構成は衣装・道具ともに江戸時代からほぼ変化がないものと考えられる。



【岩村城跡】

岩村城は「日本100名城」に選定されている名城である。城は江戸諸藩の府城の中でもっとも高い所(標高717m)に築かれた。霧の湧き易い気象までも城造りに活かされており別名「霧ヶ城」ともよばれる。



○宿場町大井地区

大井町は、武並神社本殿や中山道46番目の宿場町である大井宿を含む地区であり、往来の中山道の賑わいの面影をとどめてる地区である。

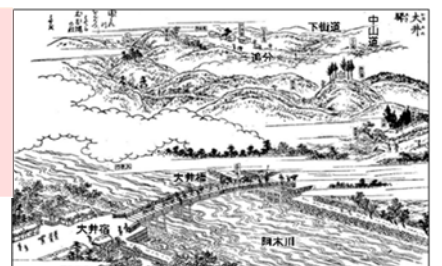
【武並神社】

武並神社は大井宿村だけでなく近隣諸村が崇敬する神社であった。例大祭は街を挙げてのお祭りであり、この後に稲刈りになるという年間生活の節目になっている。



【中山道大井宿】

大井宿は中山道46番目の宿場で、美濃16宿中随一の繁栄を誇っていた。

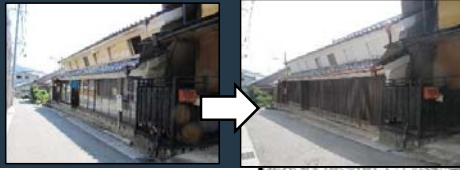


恵那市④

城下町岩村地区での取組(1)

岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業

江戸時代から3代続いた鉄砲鍛冶である加納家宅を取得し復元し、一般公開を行った。



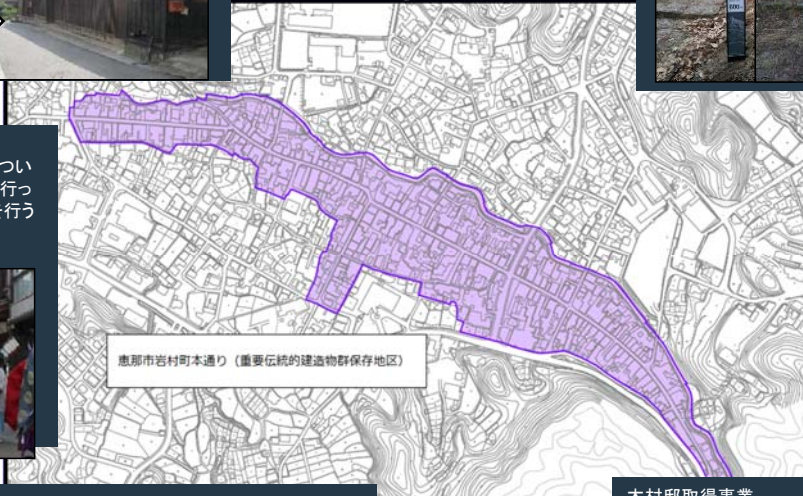
案内看板設置事業・岩村城石垣修復事業

岩村城跡に看板の設置を行い来訪者の回遊性の向上に寄与した。また、岩村城跡清掃活動に助成を行った。



祭礼復興事業

岩村町秋祭行事の祭具、衣装について、修理・交換と不足分の補助を行った。また、岩村獅子舞保存活動を行う保存会に対して助成を行った。



恵那市岩村町本通り（重要伝統的建造物群保存地区）

文化財の防災

毎年11月頃開催されるいわむら城下おかげまつりにて、火災予防パレード開催し、文化財の防火意識の高揚を図った。



岩村城下町まちなみ保存事業

地区内の歴史的建造物に対し修理修景に助成することにより、滅失・荒廃といった課題を解決し、まちなみの保護を図った。



木村邸取得事業

岩村藩の繁栄に貢献した問屋である木村邸を復元し、一般公開を行った。

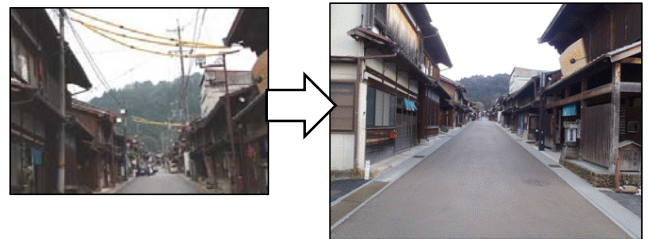


恵那市⑤

城下町岩村地区での取組(2)

電線類の地中化とまちなか道路修景事業

公共空間において、電線電柱、標識及び道路舗装などが歴史的な趣を阻害していた。城下町岩村地区の電線類の地中化(1,230m)及び道路美装(1,675m)により、歴史的風致が向上し、町並みの美観が図られた。

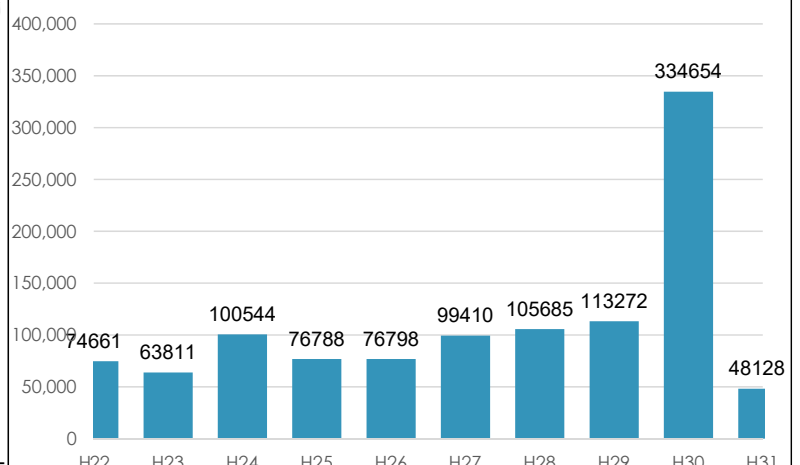


来訪者の推移

NHK連続テレビ小説「半分、青い。」のロケ地になった効果もあり、来訪者が約7.4万人(平成22年)から約33.4万人(平成30年)に増加している。また、岩村本通りの西街商店街では時代背景である昭和をイメージしたイベントが行われている。



城下町岩村地区 来訪者数



宿場町大井地区での取組

案内看板設置事業

文化財の周知し、地域住民の歴史文化に対する意識啓発及び来訪者の回遊性の向上を図った。



ポケットパーク整備事業

トイレやベンチを設置し、地域住民や来訪者の利便性が向上した。



道路美装事業

宿場町内の道路美装を行い、中山道を明確化し、視認性及び安全性、町並みの美観が向上した。



歴史的風致の維持及び向上に関する課題

- (1) 歴史的建築物、町並みの保存に関する課題
- (2) 文化資源のネットワークの構築及び新たな価値付けに関する課題
- (3) 伝統行事など地域の歴史文化を支える担い手不足に関する課題

基本方針

- (1) 歴史資源の魅力の向上及び活用の促進
- (2) 町並みの整備、保全
- (3) 歴史的風致に対する市民意識の向上
- (4) 歴史的風致を維持する伝統文化の担い手の育成



美濃市

和紙とうだつのまち



美濃市①

美濃市の概要

- 岐阜県のほぼ中央(日本のまん真ん中)に位置する。
- 1,300年の歴史と伝統を誇る「美濃和紙」の産地であり、江戸時代の商家の繁栄を今に伝える「うだつ」が数多く残る歴史的な町並みのある、歴史と文化の香り高いまち



人口:約21,000人
面積:117.01km²



重点区域における事業概要

美濃市全域

城下町上有知地区

和紙の里牧谷地区

表示 内容
 重点区域
 事業箇所
 重要文化財
 紙屋
 川屋

重要文化財美濃橋保存修理事業

美濃橋

現存する日本最古の近代吊り橋で重要文化財である美濃橋の老朽化が著しいため、保存修理を行う。

伝統芸能等調査研究保存整備事業

美濃まつり

地域で行われている祭礼や伝統芸能等の調査研究や記録保存を行うほか、その保持団体等が行う活動に対して支援を行う。

**旧牧谷街道景観整備事業
美濃橋及び川湊公園周辺整備事業**

旧牧谷街道沿いの町並みについて、協定等に基づく家屋等の修景助成や案内板の設置等を行う。また、美濃橋及び川湊公園周辺の景観整備を行う。

紙屋、川屋保存整備事業

紙屋

川屋

紙漉き職人の住居兼作業場である紙屋や製造工程のちり取り作業を行う川屋について、一般公開を前提とした修理修景を行う。

旧須田万右衛門邸保存活用事業

旧須田万右衛門邸の母屋及び倉庫蔵の現況調査を行い、官民連携による観光施設として民間活力による修理を行い維持管理する。

伝統的建造物群保存地区保存修理事業

歴史的建造物

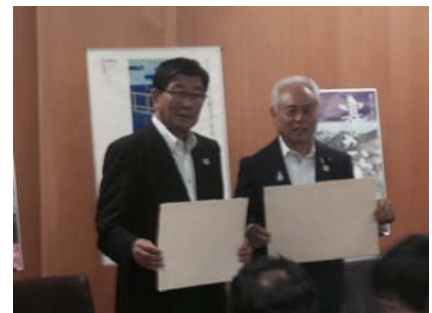
伝統的建造物群保存地区内の家屋等について保存修理を行う。

旧松久邸保存活用事業

旧松久邸の母屋及び倉庫蔵の現況調査を行い、官民連携による観光施設として民間活力による修理を行い維持管理する。

美濃手すき和紙がオリンピックの表彰状に

令和元年7月、東京オリンピック・パラリンピックの上位（1位から8位）入賞の選手に授与する賞状の素材に美濃手すき和紙が使用されることが発表された。
 枚数は17,600枚（A3サイズ）である。



岐阜県知事による視察

美濃紙にみる歴史的風致

奈良時代より1300年あまりの歴史を誇り、伝統的な技法を今も伝えている。
平成26年11月27日に本美濃紙が「和紙：日本の手漉和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録された。



川さらし



叩解



ちりとり



紙漉き

重要文化財美濃橋保存修理事業

大正5年(1916)に建設された現存する最古の近代吊橋で、重要文化財に指定されている美濃橋を修理して保存を図り、歴史的風致の維持、向上を図る。



美濃橋（全景）



主塔耐震補強等



右岸アンカー補強

旧松久邸保存活用事業

伝統的建造物群保存地区内に位置し、築100年以上の歴史的な建造物である旧松久邸の保存活用を図るため、民間事業者に貸付け、古民家宿泊施設として改修し、営業を開始。



旧松久邸外観（改修後）



通路（改修後）

城下町上有知にみる歴史的風致

平成11年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された「うだつの上がる町並み」では美濃まつりなどの祭礼や多くのイベントが開催されている。



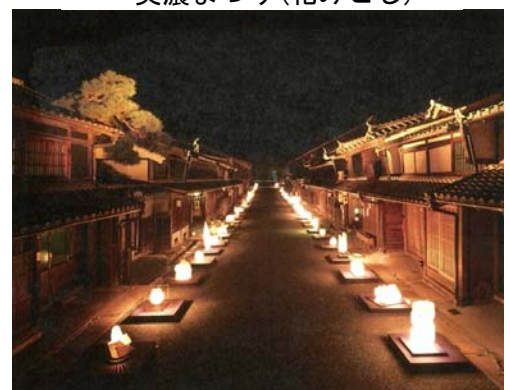
うだつの上がる町並み



美濃まつり（花みこし）



美濃流しにわか

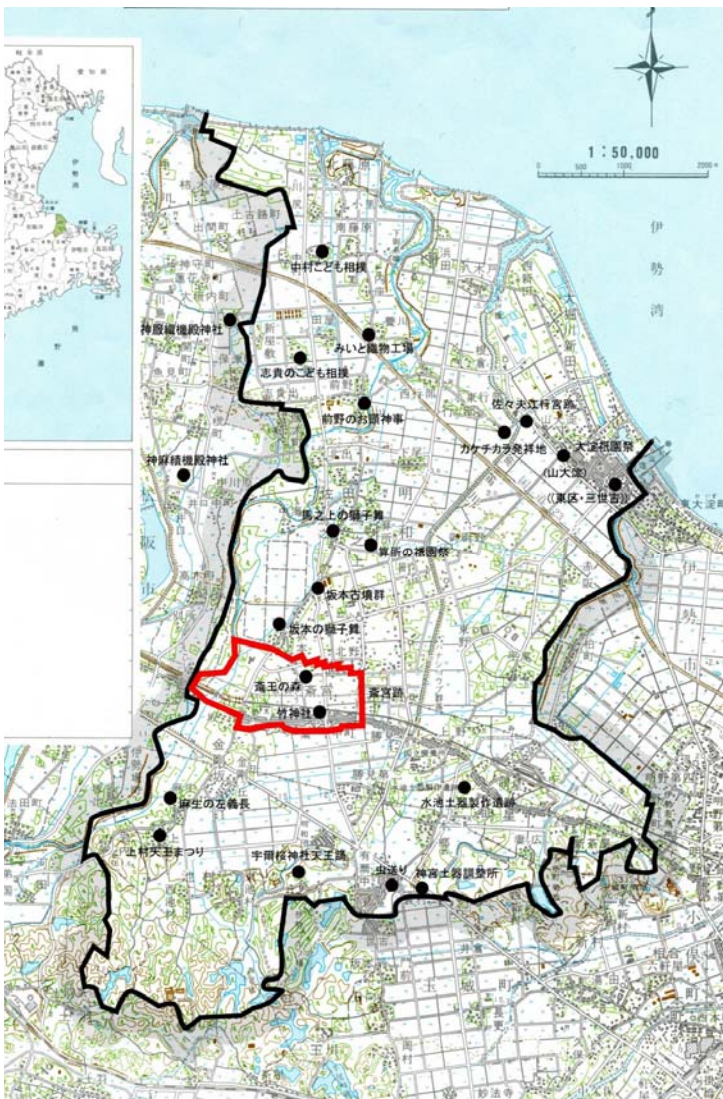


美濃和紙あかりアート展



三重県明和町

斎王まつり (さいくう平安の杜)



明和町①

明和町の概要

- ▶ 位置
- ▶ 三重県の中央部
- ▶ 西は松阪市、東は伊勢市と隣接
- ▶ 面積
- ▶ 40.92Km²
- ▶ 人口
- ▶ 約23,000人
- ▶ 地形
- ▶ 南部は丘陵地帯
- ▶ 中央部から北部は平野
- ▶ 北は伊勢湾に面する。

明和町の維持向上すべき 歴史的風致

明和町②

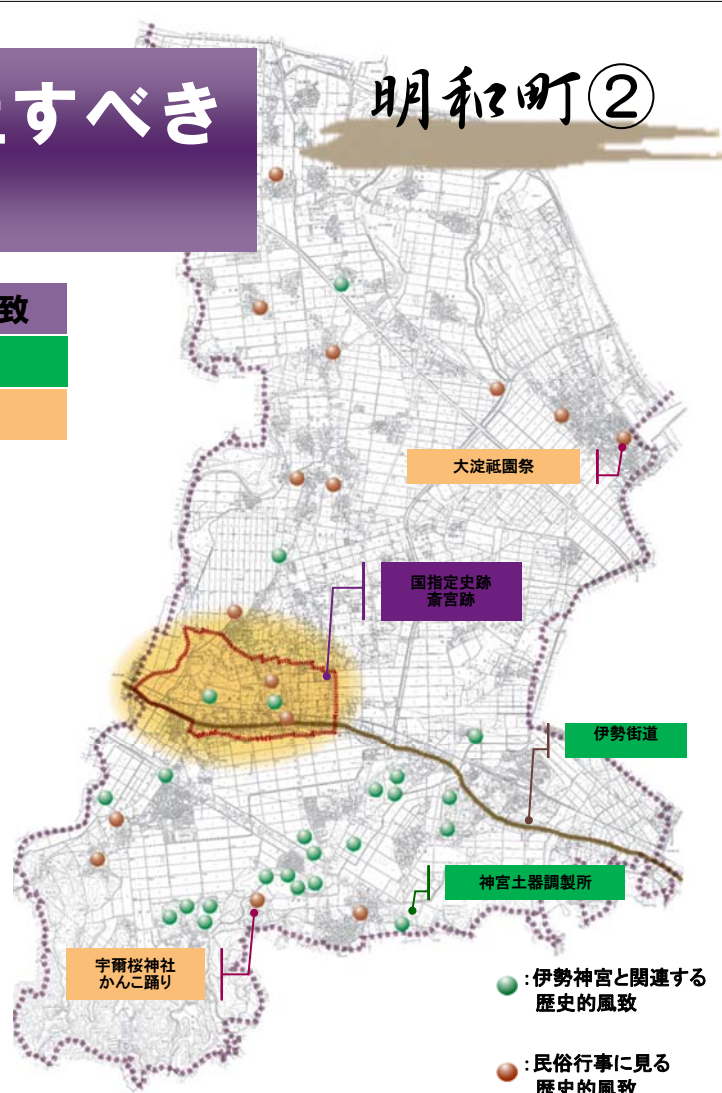
齋宮の顕彰と保存に関する歴史的風致

伊勢神宮と関連する歴史的風致

民俗行事に見る歴史的風致

明和町は、古くは全域が伊勢神宮の神領となっており、古代から中世にかけて、天皇に代わりに伊勢神宮の天照大神に奉仕するため、歴代天皇の即位ごとに伊勢に遣わされた「齋王」の御殿とその事務を取り扱う役所(齋宮寮)からなる「齋宮」が置かれていました。近世においては、「齋宮」があった齋宮村をはじめとした5か村は、伊勢神宮の直轄地(神宮領)として残り、伊勢神宮と密接なかかわりを持って発展してきました。

こうした歴史的背景から、齋王制度が廃絶した後も齋宮の旧跡地では、地域住民による保存顕彰活動が受け継がれています。また、町内には伊勢神宮と深い関わりのある土器や織物の生産、大淀祇園祭などの民俗行事が歴史的建造物と一体となって明和町の歴史的風致を形成しています。



齋宮の顕彰と保存に 関する歴史的風致

明和町③



齋宮成立期と方格地割の位置図

齋王制度が廃絶した後、齋宮の旧跡地である「齋王の森」や「野々宮(竹神社)」は、神聖な場所として現在も地元住民に守られ、明治以降の齋宮復興への運動により、史跡指定に繋がりました。地元住民等は往時の隆盛を誇った齋宮の様子を目にすることはできない中で、その姿を皆が思い描きながら、「齋王の森」や「野々宮」を守り続け、ありし日の「齋宮」を思い起こして、市街地に眠る歴史を大切に伝え残すという思いを受け継いでいます。



齋王の森



野々宮(竹神社)



奉祝祭の様子
(昭和27年撮影)

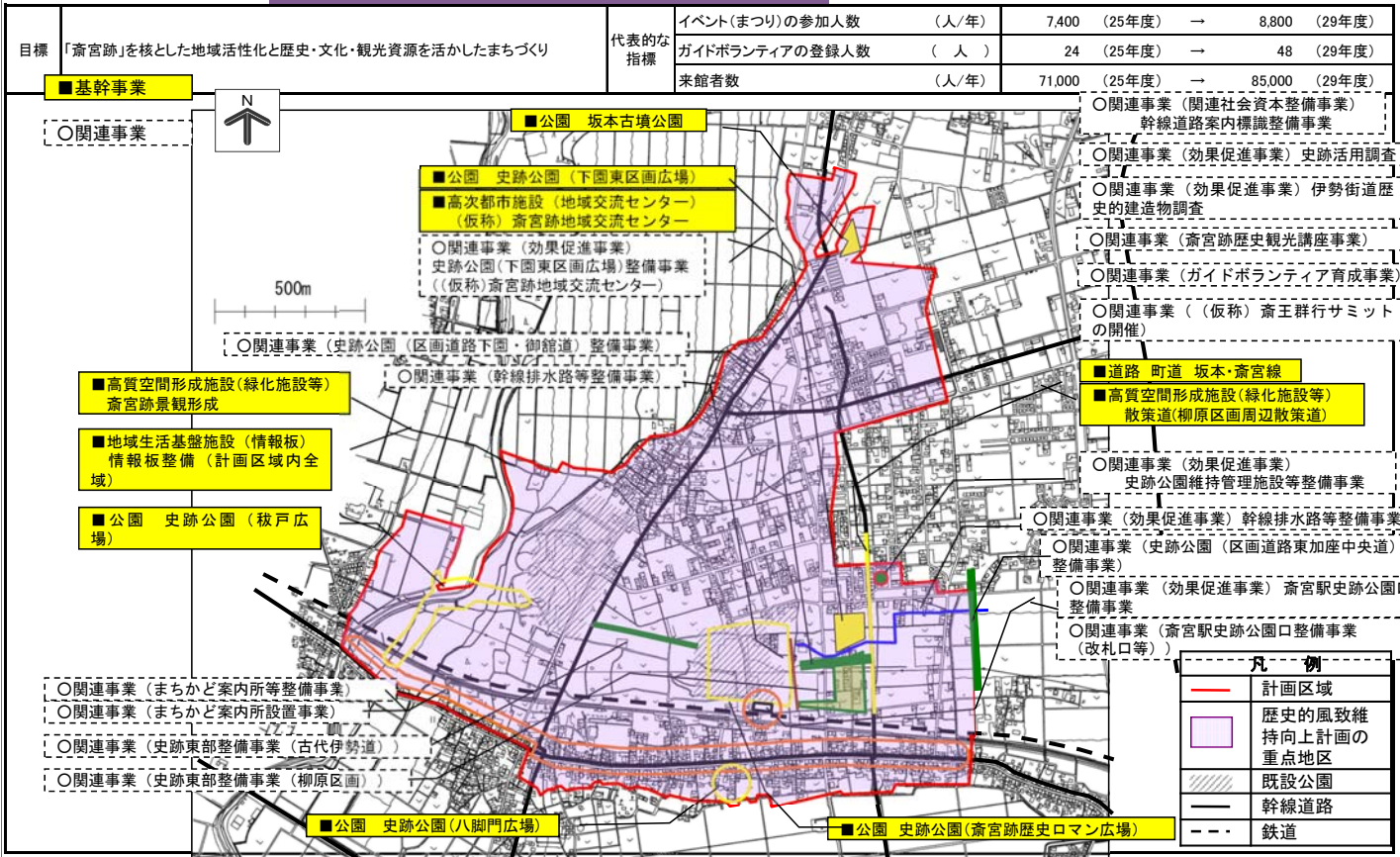


齋宮跡出土品

齋宮跡周辺地区 整備方針概要図

明和町④

方針概要図



史跡公園(下園東区画広場)整備事業

明和町⑤

来訪者を受け入れるための案内休憩所や多目的広場、便益施設を整備し、歴史資源の説明を行う拠点や散策の起終点とすることで、歴史的風致を担う地域住民や来訪者の意識向上を図る。

いつきのみや地域交流センターでのイベント

下園東区画広場整備状況



古代衣装散策体験



歴史を楽しむための 環境造り

明和町⑥



近鉄斎宮駅史跡公園口整備状況



神宮橋整備状況



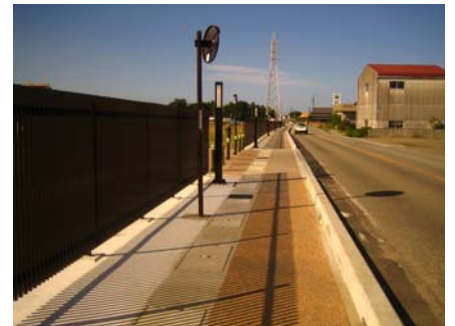
散策道整備状況



総合案内看板整備状況



道路案内標識整備状況



地元でのおもてなし

明和町⑦



ガイドボランティアによる案内



植栽による花のおもてなし



イベントでの地元団体の活躍





岐阜市

「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町

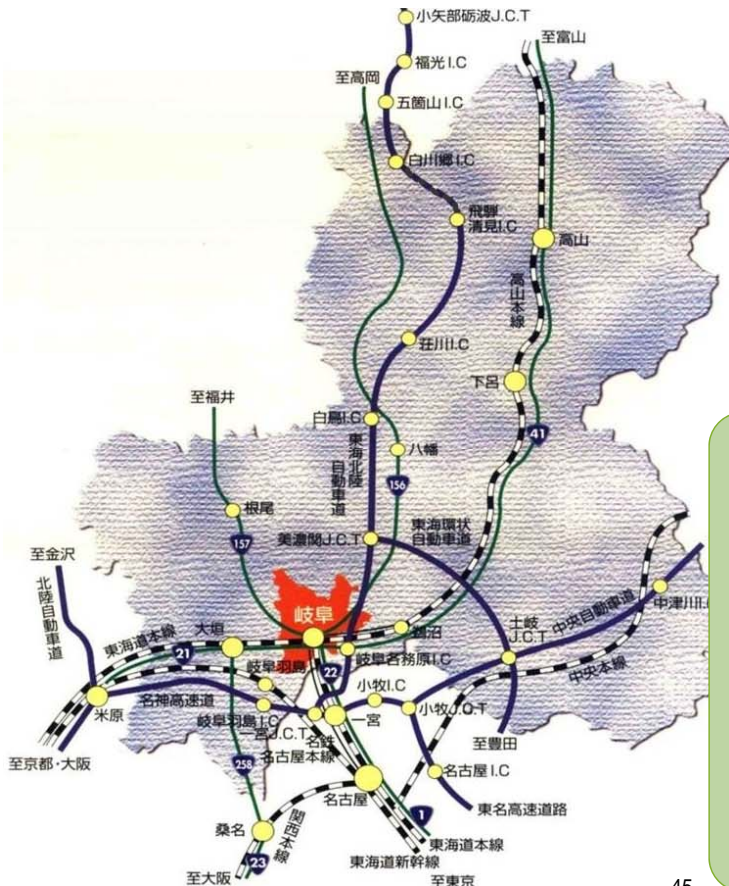
長良川の鶺鴒



国史跡岐阜城跡

岐阜市①

岐阜市の概要



○人口 408,860人(R1.9.1現在)

○面積 202.89 km²

○市の歴史的風致

岐阜市には、斎藤道三公や織田信長公により造られた城や城下町の町割りをはじめ、江戸時代後期以降の町家や神社仏閣が数多く残っている。また、1300年以上の歴史を誇る鶺鴒、伝統産業の提灯や和傘、さらに祭りや渡し舟など人々の営みが継承され、まちなみの中に本市固有の歴史的風致が息づいている。

岐阜市②

維持向上すべき歴史的風致

(1) 長良川鵜飼と鵜匠の家
にまつわる歴史的風致



(2) 岐阜まつりと岐阜城下町
にまつわる歴史的風致



重点区域
名称: 金華・鵜飼屋区域
面積: 約550ha

(5) 手力の火祭りと手力雄神社
にまつわる歴史的風致



(3) 岐阜提灯・岐阜うちわと川原町の町屋にまつわる歴史的風致



(6) 小紅の渡しと鏡島弘法にまつわる歴史的風致



(4) 加納天神祭り・岐阜和傘と加納城下町にまつわる歴史的風致



(7) 三輪祭りと三輪神社にまつわる歴史的風致



岐阜市③

歴史資産の調査・保存・活用 — 国史跡岐阜城跡の調査 —

金華山山麓部の信長公居館跡の調査では、建物の屋根を飾った金箔瓦、岩盤を流れ落ちる滝を備えた庭園などを確認し、山上部の調査では、信長公だけでなく、斎藤道三公の時代の石垣も確認している。



山上部の発掘調査で確認した石垣



発掘調査による信長公居館跡のイメージ

信長公居館跡から出土した金箔瓦
(右は復元)



岐阜市④

歴史資産の調査・保存・活用 —岐阜公園再整備事業—

金華山山麓に位置する岐阜公園について、国史跡岐阜城跡などの歴史的価値を活かした公園として再整備を進めている。

「織田信長公居館跡」については、『史跡岐阜城跡保存管理計画』に基づき、戦国時代の雰囲気を感じられる空間に整備し、また史跡周辺部については、歴史的価値の活用に加え、市民や来園者に親しまれる総合公園として、これまでに池や遊具広場の整備を実施している。



戦国時代の歴史的な伝承を持つ
御手洗池の整備



戦国時代の岩をイメージした遊具広場
「ちびっこ天下広場」の整備

岐阜市⑤

歴史資産の調査・保存・活用 —歴史的建造物の保全—

国登録有形文化財「岐阜公園三重塔」は、建立から約100年が経過し、老朽化が著しかったことから、約2年半をかけて半解体修理を実施し、建立当初の姿を復原した。

また、重点区域内にある歴史的建造物を維持・復元していく工事や、一般建造物を歴史的な街なみと調和する工事に対して、工事費を助成し、街なみの保全を推進している。



整備前



整備後

岐阜公園三重塔修復整備



修景前



修景後

歴史的建造物の修景

岐阜市⑥

歴史資産の周辺環境整備 ー道路整備事業ー

重点区域内に継承されている、長良川鶺鴒や鶺鴒匠家の家々、川原町のまちなみ、岐阜大仏をはじめとする神社仏閣など、多くの歴史資産を繋ぐ役割を担う道路について、楽しく快適にまちなかを散策できる、にぎわいや回遊性のある道路空間を創出するため、歩行者や自転車の安全性及び周辺の歴史的な景観に配慮した整備を実施した。

〔旧七曲通〕



整備前



整備後

〔御鯨街道〕



整備前



整備後

岐阜市⑦

歴史資産の情報発信

岐阜市固有の歴史資産の魅力を広くPRするため、発掘調査現場説明会、岐阜公園三重塔の特別公開、戦国時代に特化したシンポジウムの開催などを実施している。

【参加者数(認定以降)】発掘現場説明会：約3,800人 信長学フォーラム：約3,400人
信長塾：約5,100人 三重塔特別公開：約4,800人



発掘調査現場説明会



信長学フォーラム



岐阜公園三重塔特別公開



郡上市

豊かな自然と歴史文化資源を活かした観光まちづくり



市民も来訪者も共に感じる幸せ『観光(感幸)立市 郡上』

郡上市①

郡上市の概要

郡上市は、日本そして岐阜県のほぼ中央部に位置し、東部は下呂市、北部は高山市、西部は関市と福井県大野市、南部は美濃市、関市に接しています。

郡上市の地勢は、南端の最低海拔地が110m、北端の最高海拔地が1,810mと高低差が大きく、市域の約9割を森林が占めており、北部の清流長良川源流に「ひるがの高原」・「上野高原」が、東部の明宝に「明宝高原」が広がり、雄大なロケーションを感じられます。

さらに、長良川、和良川、石徹白川などの一級河川が24本あり、美しく豊かな水に恵まれています。

市の魚：アユ、市の花：こぶし、市の木：もみじ



【人口】 41,449人 【世帯】 15,396世帯(令和元年9月1日) 【面積】 1,030.75km²

郡上市②

歴史的風致の分布

重点区域

「城下町郡上八幡地区」



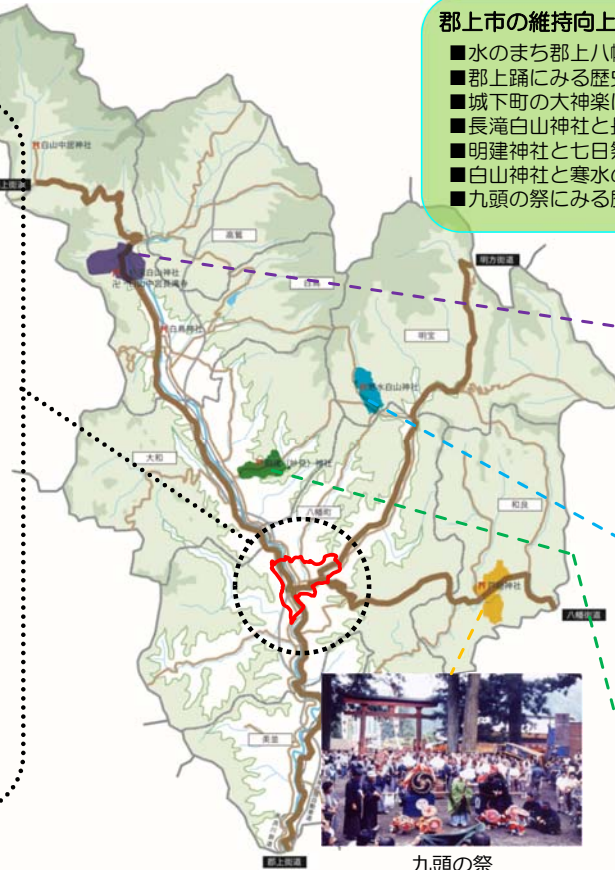
水のまち郡上八幡



郡上踊



城下町の大神楽



郡上市の維持向上すべき歴史的風致

- 水のまち郡上八幡にみる歴史的風致
- 郡上踊にみる歴史的風致
- 城下町の大神楽にみる歴史的風致
- 長滝白山神社と長滝の延年にみる歴史的風致
- 明建神社と七日祭にみる歴史的風致
- 白山神社と寒水の掛踊りにみる歴史的風致
- 九頭の祭にみる歴史的風致



長滝白山神社と長滝の延年



白山神社と寒水の掛踊



明建神社と七日祭



九頭の祭

市民も来訪者も共に感じる幸せ『観光(感幸)立市 郡上』

郡上市③

城下町の大神楽にみる歴史的風致

郡上八幡市街地の神社では、城下町の歴史とともに祭礼が継承されてきました。2日間に亘る春祭りの祭礼は、住民自らが演じ参加し、歴史を感じながら、町並みと住民の一体感を感じることができる営みです。郡上八幡に春到来を告げる祭礼では、大神楽が城下町の町家群を練り歩きます。



岐阜県重要無形民俗文化財（昭和48年）

岸
劍
神
社



岐阜県重要無形民俗文化財（昭和55年）

日
吉
神
社



岐阜県重要無形民俗文化財（平成9年）

八
幡
神
社



郡上市④

水のまち郡上八幡にみる歴史的風致

郡上八幡市街地では、水を大切にし水と向き合う人々の活動により、至る所で多様な水利用形態をみることができます。目で見て感じる水の透明感、肌で感じる水と風の清涼感、耳にする流水の水音が、伝統的な町家建築による町並みと合わせて人々の暮らしの息づかいを感じます。

今もなお、近世に整備された水路が町中に巡らされ、水源に応じた豊富な水利用施設が、飲用、防火、融雪など様々な形態で利用され、これらの多くは近隣数軒の共同で管理されています。

凡例

記号	水利用施設名称	記号	水利用施設名称
■	共同水屋	□	共同水屋跡
●	共同井戸	○	共同井戸跡
■	湧水井	■	湧水井跡
■	個人水屋	□	個人水屋跡
●	個人井戸	○	個人井戸跡
■	カワド・洗い場	□	カワド・洗い場跡
—	セギ	—	水門・取水口・分流埋
●	エイ箱・工箱	○	エイ箱・工箱跡
■	階段 石造、RC造	■	階段 S造、木造
■	はしご	■	遺構、その他

【水路】
 開渠 ———— 暗渠（蓋あり） ————
 埋設（蓋なし） ······ 地下（推定） ······

洗い場 水屋 井戸

いかわこみち（島谷用水）

防火バケツ 郡上本染

名水百選宗祇水

市民も来訪者も共に感じる幸せ『観光(感幸)立市 郡上』

郡上市⑤

郡上踊にみる歴史的風致

城下町を会場に、毎年7月中旬から9月上旬にかけて約30夜にわたり開催される郡上踊は、お囃子も踊りも異なる10種の曲目があります。神社仏閣や城下町の通りで踊られていた盆踊りを、大正11年設立の郡上踊保存会により、体系化しながら継承されてきました。

城下町の町並みと郡上踊は、住民により脈々と受け継がれてきたものであり、郡上八幡の夏を伝える代表的な風景となっています。薄明かり中、縁日や祭礼が厳かに行われた後、唄やお囃子に合わせて踊る人たちの一体感、お囃子と踊りと歴史的な町並みが溶け込んで生み出される歴史的風致です。

曲目	囃り物	進行方向
古調かわさき	なし	反時計回り
かわさき	太鼓、笛、三味線	時計回り
春駒	太鼓、笛、三味線	時計回り
三百踊	太鼓、笛、三味線	時計回り
やっちく	太鼓	時計回り
げんげんばらばら	太鼓	反時計回り
さわぎ	なし	時計回り
猫の子	なし	時計回り
喜句	なし	時計回り
まつさか	なし（拍子木）	時計回り

神事

手拭い


踊下駄

郡上市⑥


これまでの主な取り組み①

都市再生整備計画事業 (H27～R1)

整備前 → ポケットパーク整備 → 整備後




道路修景整備



八幡橋架け替え事業

架け替え前 → 架け替え後




主な事業

- 防災設備整備事業 (耐震性貯水槽)
- 道路修景整備事業 (カラー舗装)
- 無電柱化整備事業 (電線共同溝)
- ポケットパーク整備事業
- 積翠荘跡地利用整備事業 (交流施設)
- 市街地交通対策事業


郡上八幡駅周辺整備事業

整備前 → 整備後



郡上市歴史資料館整備事業

建物外観 → 展示室



市民も来訪者も共に感じる幸せ『観光(感幸)立市 郡上』

郡上市⑦

これまでの主な取り組み②

伝建事業

主な事業

伝統的建造物群基盤強化事業

- 修理修景事業
- 防災事業 (耐震性貯水槽、消火栓、案内板)

伝建地区案内板



耐震性貯水槽



景観に配慮した意匠の消火栓



整備前 → 修理修景 → 整備後



今後の展開

街なみ環境整備事業 (歴史的風致形成建造物の指定調査・指定・修理修景) を活用し、重点区域内の良好な町並み景観の維持向上に努めるほか、伝建事業の継続実施による適切な保存を図る。併せて、町並みと一体となり歴史的風致を形成する伝統芸能等への支援を継続する。また、誘致活動より増加を続ける外国人観光客に対する利便性向上を図る。




郡上良ちゃん
川原町の町並み
楳本町の町並み
殿町の町並み
本町の町並み



名古屋市



「語りたくなるまち名古屋」の実現を目指して



名古屋市①

名古屋市の概要



名古屋は、古くは地方勢力の拠点として、江戸時代は御三家筆頭である尾張徳川家の城下町として、また近代以降は我が国における経済産業の一大拠点として発展しました。

こうした歴史を背景に、戦災から免れた貴重な歴史資産をまもり・いかし・つなぐため、平成23年7月に「名古屋市歴史まちづくり戦略」を策定するとともに、平成26年2月に「名古屋市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、身近に歴史が感じられるまちづくりに取り組んでいます。

名古屋市は、地理的に日本のほぼ中央に位置し、中部圏の中核都市としての役割も期待されています。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会や、リニア中央新幹線開業を見据え、魅力と活力にあふれるまちづくりが求められています。



名古屋市歴史まちづくりPRキャラクター
歴まちくんとおとも

名古屋市②

名古屋市の主な歴史的風致



①名古屋城と名古屋城下町を舞台に展開した祭礼に見られる歴史的風致



②熱田神宮等に見られる歴史的風致



③尾張氏ゆかりの地、志段味に見られる歴史的風致



④堀川・四間道界隈に見られる歴史的風致



⑤街道や城下町の周辺地域等に見られる歴史的風致



⑥大都市名古屋の発展過程に見られる歴史的風致

名古屋市③

歴史まちづくりの主な取組み

名古屋城本丸御殿の復元整備

戦災で焼失した本丸御殿について、忠実な復元整備を平成20年度より実施しています。平成30年6月に整備事業が完了し、全体公開を迎えました。



復元された玄関・車寄



復元された障壁画 竹林豹虎図（玄関一之間東側）



復元工事の様子
左:金具の製作
右:こけら葺き

歴史まちづくりの主な取り組み

歴史的町並みの保存

歴史的町並みが残る有松、白壁・主税・榎木、四間道、中小田井の4地区を町並み保存地区に指定し、地区内の建造物の修理・修景等に対して補助を実施しています。

また、有松地区は平成28年7月に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、平成29年度より伝統的建造物群保存地区保存事業による修理修景事業を開始しました。

伝統的建造物群保存地区保存事業における実施例(修理)



トタン張りとなっていた外壁を板張りへ復元的修理

町並みにあわせた店舗の新築修景

町並み保存事業における実施例(修景)



歴史まちづくりの主な取り組み

歴史の里整備事業

「歴史の里しだみ古墳群」は、古墳時代を通じて造られた古墳が良好に遺存している愛知県を代表する古墳の密集地

白鳥塚古墳地区



勝手塚古墳地区

大塚・大久手古墳群地区



H31.4.1
OPEN



東谷山山頂3古墳地区

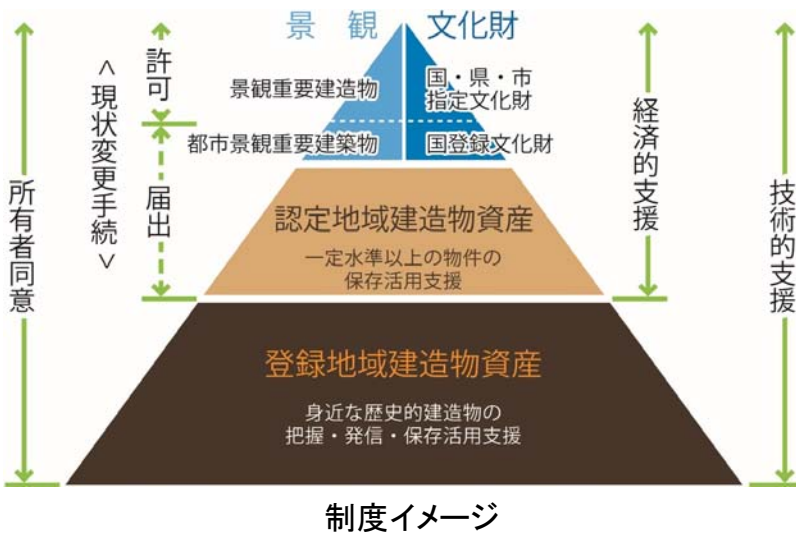


歴史まちづくりの主な取り組み

歴史的建造物の登録・認定

市内に残る身近な歴史的建造物について、地域建造物資産として登録・認定し、技術的・経済的支援を実施しています。

。平成31年3月末時点で、登録・認定の累計件数は264件となっています。



為三郎記念館
(認定地域建造物資産)



鬼頭勘兵衛宅長屋門
(登録地域建造物資産)

近況報告

名古屋城本丸御殿の全体公開



平成20年度より実施した本丸御殿の復元整備が完了し、平成30年6月に全体公開を迎えました。

また、平成30年3月に金シャチ横丁も開業し、さらなる賑わいをみせています。

日本遺産への認定



有松絞りをテーマとしたストーリーが評価され、令和元年5月に本市として初めて日本遺産の認定を受けました。

愛知県内で地域型として認定された初めての事例になります。





伊賀市

文化薫る歴史のまち～秘蔵の国

～歴史的風致を活かしたまちづくり～



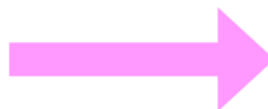
国史跡上野城跡の高石垣



上野天神祭のダンジリ行事

伊賀市①

伊賀市の概要



- ・平成16年11月1日に上野市、阿山郡伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、名賀郡青山町の6市町村が合併して誕生しました。
- ・面積 約558km² 市域の約62%が森林 約14%が農用地、約5%が宅地
- ・人口 91,421人 世帯数40,557世帯(令和元年8月31日現在)
- ・大阪から60キロ、名古屋から80キロと2大都市圏のほぼ中間に位置します。
- ・名阪国道とJR関西本線・草津線、近鉄大阪線、伊賀鉄道が通っています。

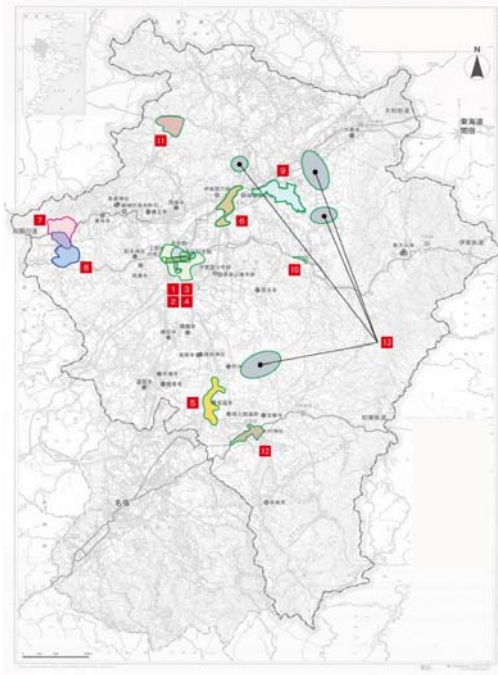
伊賀市②

伊賀市の歴史的風致維持向上計画

平成28年5月19日 認定

13の維持向上すべき歴史的風致

- ①上野天神祭にみる歴史的風致
- ②芭蕉頭彰と俳句文化にみる歴史的風致
- ③伊賀組紐にみる歴史的風致
- ④城下町の和菓子店にみる歴史的風致
- ⑤神戸神社と伊勢神宮のつながりにみる歴史的風致
- ⑥敢國神社の獅子舞にみる歴史的風致
- ⑦観菩提寺の修正会にみる歴史的風致
- ⑧鷗宮神社の秋の例大祭にみる歴史的風致
- ⑨春日神社長屋祭にみる歴史的風致
- ⑩植木神社の祇園祭にみる歴史的風致
- ⑪伊賀焼にみる歴史的風致
- ⑫大村神社例大祭にみる歴史的風致
- ⑬かんこ踊りにみる歴史的風致

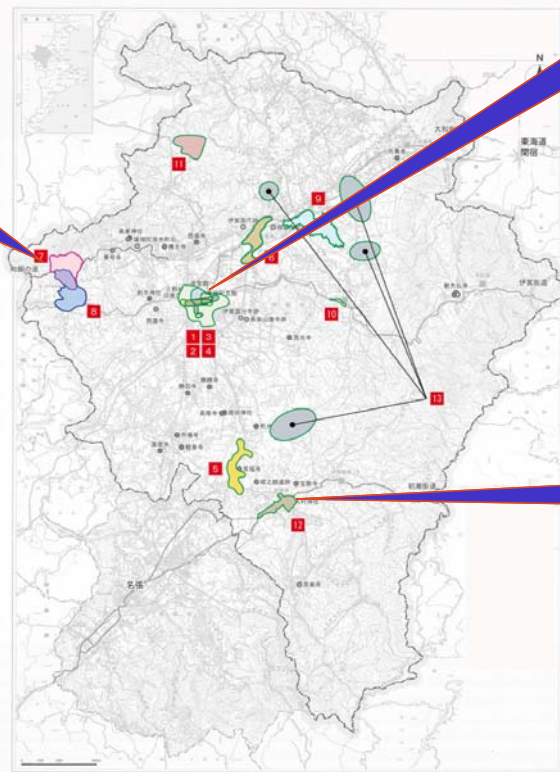


伊賀市③

3つの重点区域

観菩提寺と
大和街道島ヶ原宿

- ・修正会の頭屋の集落範囲と練り込み経路、鷗宮神社の秋の例大祭の巡行経路を勘案し、それらと大和街道島ヶ原宿の区域を包含する。
- ・河川、道路等の地形や集落の字界等を基本とする。



上野城下町

- ・4つの歴史的風致の重なりをもとに、城下町絵図の旧城下町の区域を基本とする。
- ・伊賀市景観計画の「城下町の風景区域」と整合させる。
- ・中心市街地活性化基本計画の区域を包含したより広い区域。

大村神社と
初瀬街道阿保宿

- ・初瀬街道沿道水路と、その裏側の通路「ひやわい」の風情を残す道の範囲
- ・祭礼の巡行経路を包含
- ・大村神社を含み眺望景観を勘案

取り組み紹介1 まち巡り拠点施設整備事業 (成瀬平馬家長屋門活用事業)



市指定有形文化財(建造物)成瀬平馬家長屋門と当該敷地を活用し、まち巡り拠点の整備を実施しています。文化財保存修理の手法で、建物の一部を解体し、痕跡の調査を行い、改修方法を慎重に検討し、事業を推進しています。

取り組み紹介2 修景助成事業



施工前



施工後

重点風景地区で、景観形成基準に合致した、建築物、工作物の新築、改築、模様替えに対し助成を実施しています。現在、助成制度が活用されるよう周知を図っています。

取り組み紹介3 空き家バンク事業

市内の空き家情報をストックし、貸したい人、借りたい人、地域内の不動産業者等の連携により空き家の有効活用を図っています。

伊賀流空

伊賀上野城下町ホテル 古民家等再生活用事業



拠点施設となる予定の国登録有形文化財の栄楽館

歴史的資源を活用し、空き家の発生の予防と有効活用、中心市街地と農山村地域の賑わいと移住者増加を目指し、官民連携した観光振興・産業振興に取り組んでいます。

取り組み紹介4

上野天神祭のダンジリ行事民俗文化財伝承・活用等事業(保存事業)



魚町楼車御簾

重要無形民俗文化財上野天神祭のダンジリ行事に使用する用具等の修理、復元新調等を実施しています。



鍛冶町楼車



岡崎市

～未来へつむぐ 歴史まちづくり～



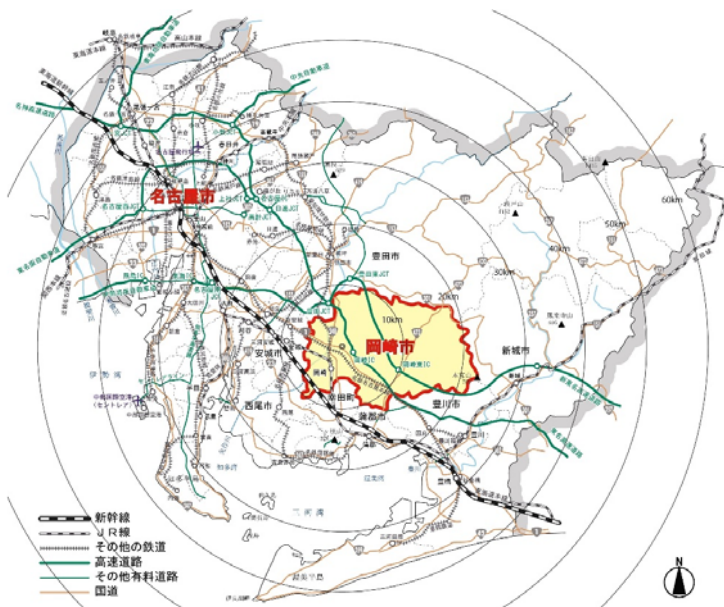
乙川での菅生祭の銚船と花火



徳川家康公の生誕の地・岡崎城

岡崎市①

岡崎市の概要



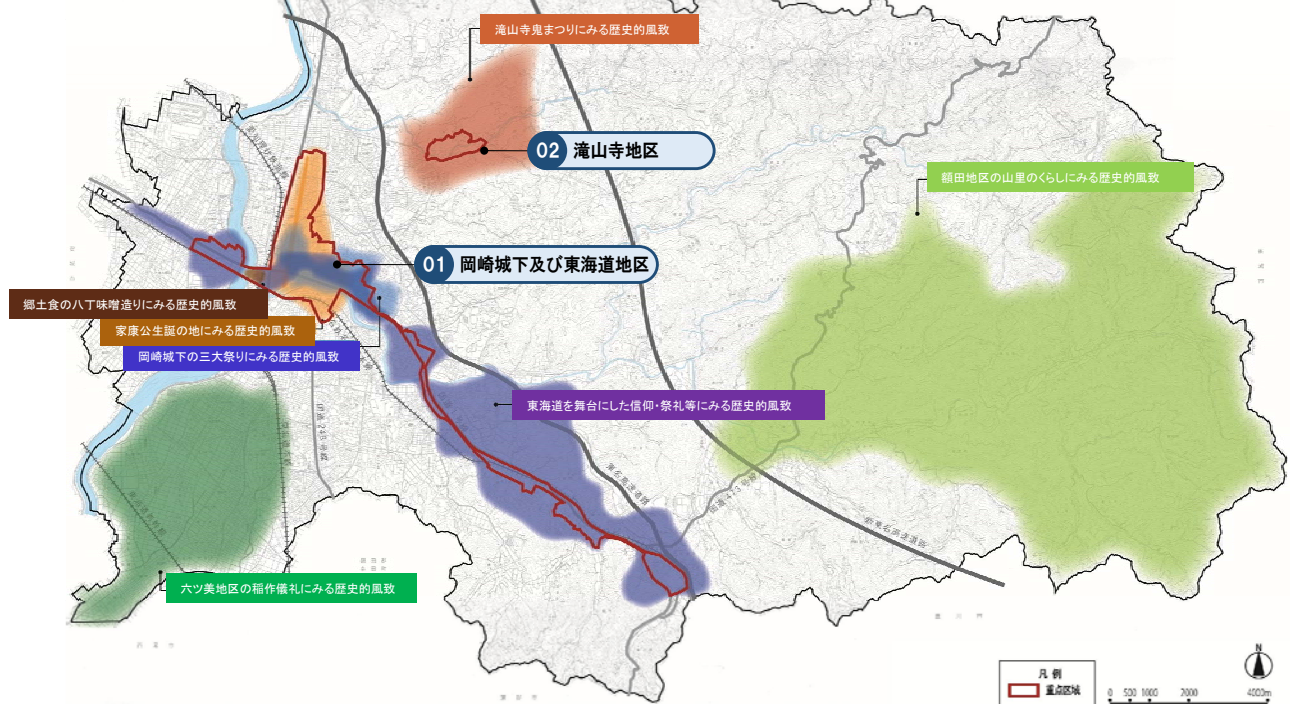
人口：約38万8千人
(令和元年8月31日現在)

面積：約387.20 km²

岡崎市は愛知県のほぼ中央に位置する中核市で、名古屋市から約35kmの距離にある。古より交通の要衝として栄え、近世には江戸幕府の礎を築いた、徳川家康公の生誕の地・岡崎城の城下町、東海道の宿場町として発展した。

維持向上すべき歴史的風致

1. 家康公生誕の地にみる歴史的風致
2. 東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
3. 滝山寺鬼祭りにみる歴史的風致
4. 岡崎城下の三大祭りにみる歴史的風致
5. 郷土食の八丁味噌造りにみる歴史的風致
6. 六ツ美地区の稲作儀礼にみる歴史的風致
7. 額田地区の山里のぐらしにみる歴史的風致



主な歴史的風致

1. 家康公生誕の地



徳川家康公の生誕地である岡崎城やゆかりの社寺を始めとする市街地を舞台に、年中行事や様々な顕彰活動が展開され、郷土への愛情や誇りの源泉となる歴史的風致が形成されている。

主な歴史的風致

2. 東海道を舞台にした信仰・祭礼等



華麗荘厳な山車と囃子が鳴り響く
晴れやかな矢作神社の祭礼



旧東海道が通る「籠田公園」



五穀豊穡を願う古式ゆかしい
山中八幡宮の「デンデンガッサリ」

旧東海道を舞台に各地に根付いた祭礼等の伝統行事が行われ、松並木や常夜燈、一里塚、歴史的な風情が残るまちなみなど当時の面影を残す市街地と一体となった歴史的風致が形成されている。

主な歴史的風致

3. 滝山寺鬼祭り



三河路に春を告げる「滝山寺鬼祭り」



柿葺きの楼門「滝山寺三門」



脈々と継承されている松明作り

重要文化財の滝山寺を舞台に、源頼朝の祈願に始まると伝わる鬼祭りが大切に受け継がれ、周辺の山並みや河川と一体となった歴史的風致が形成されている。

主な歴史的風致

4. 郷土食の八丁味噌造り



二夏二冬の長期熟成の天然醸造豆味噌



黒壁と高石垣の「八丁蔵通り」

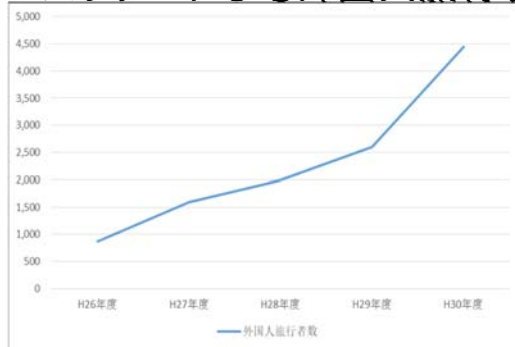


旧東海道を挟んで向かい合う老舗2社

黒壁の蔵並みが続く八帖地区を舞台に、郷土の味八丁味噌を、昔ながらの伝統製法により製造する地場産業の営みが調和する歴史的風致が形成されている。

「家康公生誕の地にみる歴史的風致」を磨いた効果と今後の展開

●バスツアーによる外国人旅行者数の推移



家康公生誕の地である岡崎城(岡崎公園)を訪れる外国人旅行者数は増加しており、歴史文化資産を活かした地域活性化や観光振興の展開に一定の効果が出ている。

●観光受入環境の更なる整備について



歴史文化資産の価値や魅力を広く顕在化させ、観光資源としての確かな集客力を持たせるため、統一したデザインで、多言語や自動音声にも対応した観光客目線の分かりやすい解説サイン等の整備を進める。



三島市



～せせらぎと祭りと歴史が薫る～

三島市①

三島市の位置と概要



○位置: 静岡県の東部に位置し、品川まで新幹線で37分

○面積: 約62.02 km²

○人口: 109,709人

○世帯: 49,301世帯
(R1年8月31日現在)



【歴史】

- 古代には国府が置かれ地方行政の中心となった。
- 鎌倉時代には三嶋大社の門前町として信仰の拠点となった。
- 江戸時代には東海道の宿場町として賑わいを見せた。
- 古来より、富士山の雪解け水を源とする湧水が各所から自噴し、水の都として人々の暮らしに潤いを与えてきた。

三島市②

三島市の維持向上すべき歴史的風致

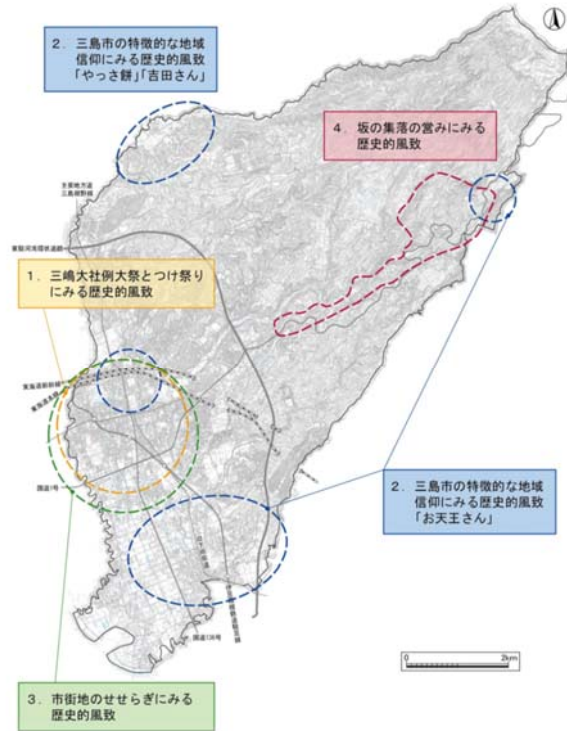
三嶋大社例大祭とつけ祭り

三嶋大社の諸神事としゃぎり、山車競り合い、頼朝公旗揚行列等の市民参加のつけ祭りが一体となった、三島の夏を彩る歴史的風致である。



市街地のせせらぎ

富士山の雪解け水がせせらぐ市街地では、沿川に設けられたカワバタと水神信仰や七月盆の行事などが水の都らしい歴史的風致を見せる。



特徴的な地域信仰

市北部の伊豆佐野地区の「やっさ餅」をはじめ、各地区の氏神である神社を中心に特徴的な祭礼が行われ、歴史的風致を形成している。



坂の集落の営み

江戸時代に箱根旧街道沿いに形成された五ヶ新田では、各集落の神社で集落成立当時から祭礼等が続き、歴史的風致を形成している。



三島市③

取組み1: 歴史的建造物の維持・保全

三島市歴史的風致維持向上計画に基づき「歴史的風致形成建造物」として指定された建築物について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。

懐古堂ムラカミ屋



大正15年に建築された、木造2階建ての店舗併用住宅で、洋風建築を模倣したファサードの看板建築である。

三嶋曆師の館



外観は起り破風(むくりはふ)の式台玄関に特色があり、江戸期の関所建築の面影を見ることができる建築物である。

楽寿館



明治23年に小松宮彰仁親王の別邸として建造された建物である。純日本風高床式数寄屋造で各部屋は中庭を囲む廻廊で結ばれている。

三島市④

取組み2: ガーデンツーリズム計画の登録

楽寿園

三島駅のすぐ南に位置する広さ約75,474㎡の自然豊かな公園。明治維新で活躍された小松宮彰仁親王が明治23年に別邸として造営。昭和27年7月15日から市立公園として三島市が管理運営。



○最近の取組み



国土交通省が新たに創設した庭園間交流連携促進計画登録制度(通称: ガーデン

ツーリズム登録制度)に、皇室ゆかりの4園(沼津御用邸記念公園、三島市立公園楽寿園、秩父宮記念公園、恩賜箱根公園)で構成する、富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム協議会による計画が令和元年5月30日に登録した。

○これからの取組み 皇室ゆかりの庭園PRイベント ～ガーデンツーリズム登録記念～

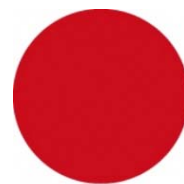
国土交通省との連携により、楽寿園の菊まつりの会場で「富士・箱根・伊豆『皇室ゆかりの庭園』ツーリズム」及び各地域の特産品のPRを行う。
日時: 令和元年11月23日 10時～15時

三島市⑤

取組み3: 日本遺産の認定「箱根八里」

箱根旧街道

箱根旧街道は、江戸時代初めに徳川幕府が整備した東海道の一部。この街道は「箱根の山は天下の険」と歌にも唄われたように、東海道第一の難所と言われている。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

○これまでの取組み 日本遺産の認定

「箱根八里」の魅力を国内外に発信し、交流促進等による地域の活性化を図るため、箱根八里街道観光推進協議会(三島市、函南町、箱根町、小田原市)は文化庁に申請を行い、日本遺産審査委員会による審査を経て、平成30年5月24日に認定となった。

○これからの取組み

県をまたぐ、2市2町の取組みとして、誘客と交流が伴う活性化を進めるため、**多言語表記の看板設置、SNSの拡充及び映像作成**等を実施する。

取組み4: 山中城跡の保存・活用

山中城跡

山中城は、戦国時代末期の永禄年間(1558～1570年)、小田原に本城をおいた後北条氏によって隣国駿河や甲斐に対する境目の城として築城された。急峻な斜面に囲まれた自然の要害の地につくられた標高580メートルに位置する山城で、城の範囲は東西500メートル、南北1,000メートルに及ぶ。



トリップアドバイザー
旅好きが選ぶ！日本の城ランキング2018 第15位

○これまでの取組み

平成24～30年度にかけて、堀、土塁、橋等について、再整備工事を行った。



再整備前



再整備後

○これからの取組み

山中城跡の調査及び史跡保存活用計画の策定を行う。

○最近の取組み ガバメントクラウド ファンディング

維持管理費用の一部に充填することを目的にガバメントクラウドファンディングを実施し、寄附者には返礼として、普段は立ち入ることのできない障子掘への潜入体験を含む山中城の案内を行っている。

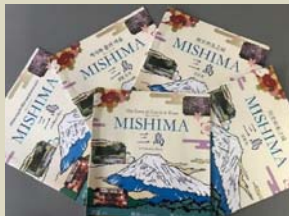


取組み5: 訪日外国人受入れ整備

○三島市インバウンドおもてなし事業補助金

「東京2020オリンピック・パラリンピック」自転車競技大会が、県東部・伊豆で開催。本市にも多くの外国人を含む観戦客等の来訪が見込まれることから、その受入態勢の整備を行うもので、翻訳機の導入やWi-Fiスポットの整備を行う事業者に対し費用の一部を支援する。

○これまでの取組み



- ▶多言語観光パンフレット
- ・英語
- ・中国語(簡体字・繁体字)
- ・韓国語
- ・タイ語

▼案内看板の整備



▲多言語に対応したQRコード

【補助対象】

- ・Wi-Fiスポットの整備
- ・多言語化標記の案内看板の設置 e.t.c.



【期待される効果】

- ・QRコードの利用による多言語化された観光サイトへアクセスを促進する。
- ・キャッシュレス決済を促進し、街なかの賑わいの創出と魅力ある買い物環境の整備を進める。
- ・SNSの利用を促進する。





掛川市

歴史・文化・伝統を地域の誇りとして次代に繋ぐ



掛川市①

掛川市の概要

新東名高速道路 森・掛川IC

国道1号バイパス

掛川市役所

掛川城

掛川駅
(JR東海道線・新幹線・天竜浜名湖鉄道)

東名高速道路 掛川IC



面積: 265.69km²
人口: 117,964人
(令和元年8月末時点)

掛川市②

掛川三城



【東海の名城】 掛川城

- ・戦国武将たちの覇権争い
遠江支配の拠点
- ・日本初の木造復元天守
- ・現存する城郭御殿
- ・日本100名城



【難攻不落の城】 高天神城

- ・難攻不落の名城
- ・高天神を制する者は遠州を
制する
- ・徳川家康が築いた高天神六砦
- ・続日本100名城

【玉石積みの石垣】 横須賀城

- ・高天神城攻略の起点として
徳川家康が築城
- ・今に残る横須賀城下街
- ・江戸天下祭を今に伝える
三熊野神社大祭



掛川市③

代表的な歴史的風致

【掛川城下の祭りにみる歴史的風致】

- ・掛川城と城下町の歴史的建造物
- ・掛川祭



【横須賀城下の祭りにみる歴史的風致】

- ・横須賀城と城下町の歴史的建造物
- ・三熊野神社大祭



代表的な歴史的風致

【事任八幡宮例大祭にみる歴史的風致】

- ・東海道日坂宿と事任八幡宮
- ・事任八幡宮例大祭



【高天神城と周辺集落の祭りにみる歴史的風致】

- ・高天神城跡と周辺集落
- ・高天神社例大祭、矢矧祭、祇園祭り



【掛川茶の生産にみる歴史的風致】

- ・茶文字と茶農家住宅
- ・世界農業遺産「静岡の茶草場農法」

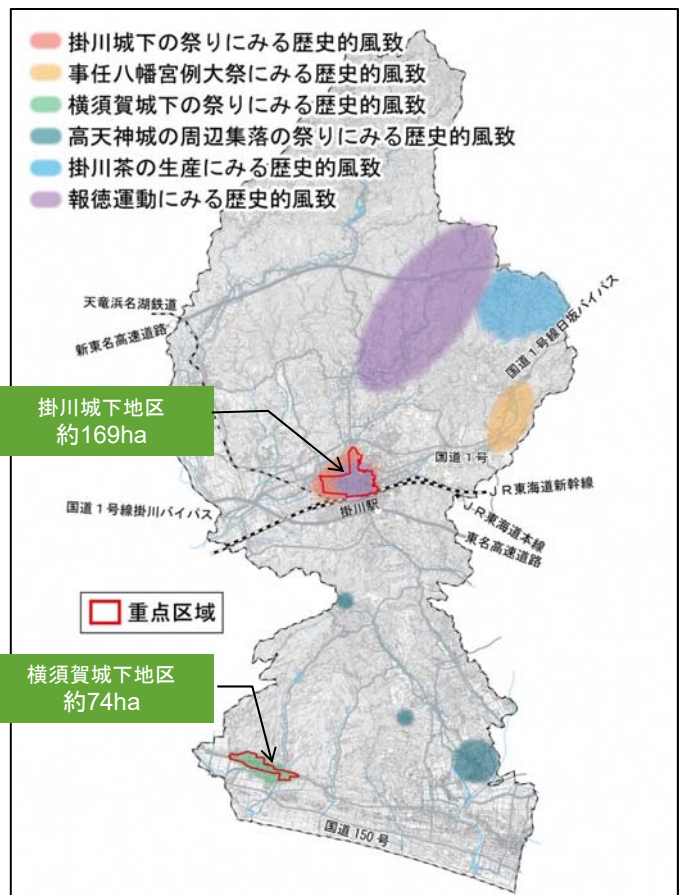
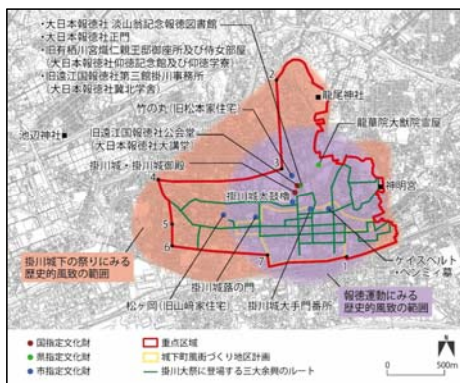


【報徳運動にみる歴史的風致】

- ・大日本報徳社の建造物
- ・報徳運動



重点区域



取組の概要

【松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業】

○計画記載内容

掛川藩御用達を勤めた豪商山崎家の住宅(松ヶ岡)の修復を行う。また、重要文化財指定を目指すとともに、地域の発展を伝える施設等として活用していく。

○支援事業名

社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業・街なみ環境整備事業)



長屋門



塀の補修



一般公開

GW限定 市指定文化財「松ヶ岡」無料一般公開
4月28日～5月6日
 午前10時～午後3時
 観覧料 無料(事前予約不要)
 観覧所 掛川市南西町3-8
 駐車場 約10台
 社会教育課 ☎(0537)21-1158

特別公開チラシ

今後の展望

①掛川城周辺・横須賀街道における無電柱化及び道路美装化事業

掛川城周辺及び掛川市景観形成重点地区でもある横須賀街道において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化等による良好な景観形成を行う。



掛川城周辺

②掛川公園と周辺整備事業

歴史・文化ゾーンの中核である掛川公園と周辺の再整備、周辺道路の歩行者空間の改善などを行い、賑わい創出を図る。



横須賀街道



市民ワークショップ



ワークショップによるまちづくり構想図



オープンカフェの社会実験



伊豆の国市

世界遺産を守り伝えるまち



伊豆の国市①

1. 伊豆の国市の概要



人口: 48,549人(R元.9.1現在) 世帯数21,262世帯(R元.9.1現在) 面積: 94.62Km²

2. 伊豆の国市の指定文化財

伊豆の国市②



国宝
木造不動明王及二童子立像
(願成就院蔵)



国宝
木造阿弥陀如来坐像
(願成就院蔵)



国宝
木造毘沙門天立像
(願成就院蔵)

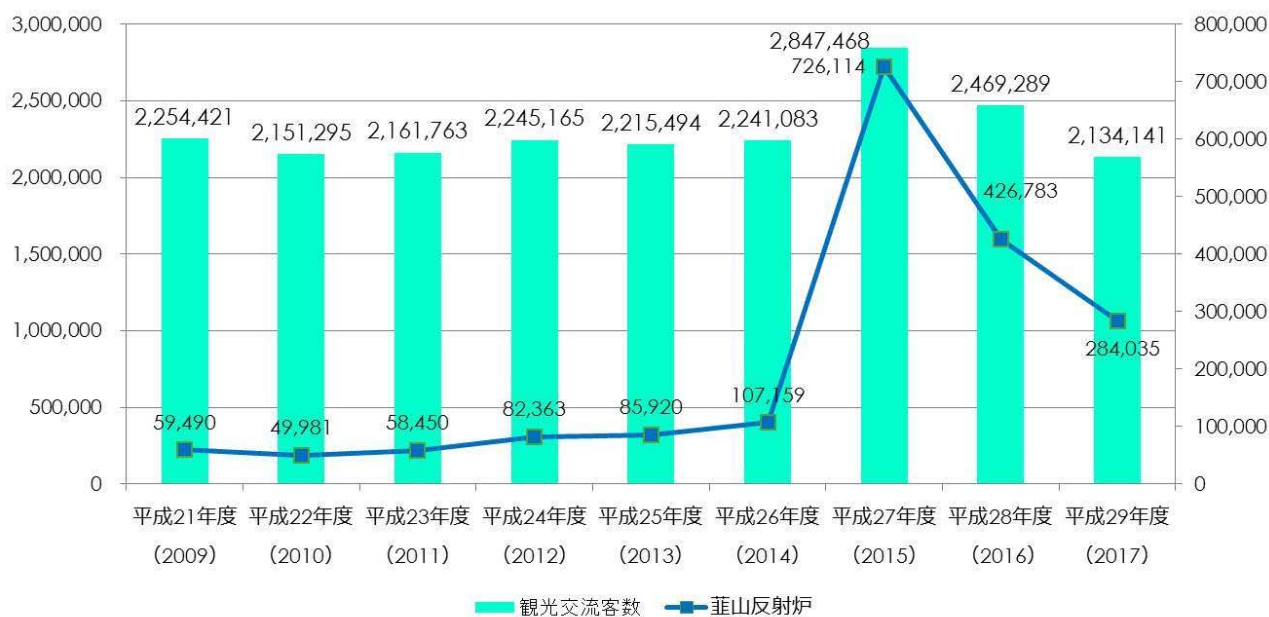


重要文化財 江川家住宅

種別		国指定	県指定	市指定	計	
有形文化財	建造物	1 (重文)	1		2	
	美術工芸品	絵画		1		1
		彫刻	1 (国宝)	5	4	10
		工芸品		2	1	3
		書跡・典籍・古文書		1	1	2
		考古資料	1 (重文)	1	2	4
		歴史資料	2 (重文)		6	8
民俗文化財	有形民俗文化財	1			1	
	無形民俗文化財			4	4	
記念物	史跡	6		10	16	
	天然記念物	1		3	4	
計		13	11	31	55	

3. 観光客数の推移

伊豆の国市③



区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
宿泊客数(A)	723,969	717,052	728,485	729,135	722,044
観光レクリエーション客数(B)	1,491,525	1,524,031	2,118,983	1,740,154	1,412,097

※B観光レクリエーション客数
民間観光施設、市内イベント参加、
観光農園、江川邸、韮山反射炉、日
帰り温泉施設等の人数

4. 維持及び向上すべき 6つの歴史的風致

伊豆の国市④



5. 東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウンの機運醸成

伊豆の国市⑤

歴史資源を活用した交流事業を実施した
ホストタウンの機運醸成



2015年8月モンゴル国と柔道競技事前キャンプに
関する覚書の締結



2017年12月モンゴル国柔道アカデミー
葦山反射炉視察

伝統芸能や伝統文化の発信活用
 ディスティネーションキャンペーンをきっかけとした、
 市民主体の伝統文化の活用

伊豆の国市⑥



2019年5月26日
 静岡DC「三番叟の饗宴」



2019年5月22日
 静岡DC「薪木狂言の夕べ」

外国人の受け入れ環境整備
 外国人観光客の受入れの取り組み

伊豆の国市⑦



観光施設フリーWi-Fi整備



観光パンフレットの多言語化



韮山反射炉における
 外国語ガイド事業



下田市



自然と歴史を活かし
やすらぎと活力のある美しいまち

下田市①

下田市の概要

○位置

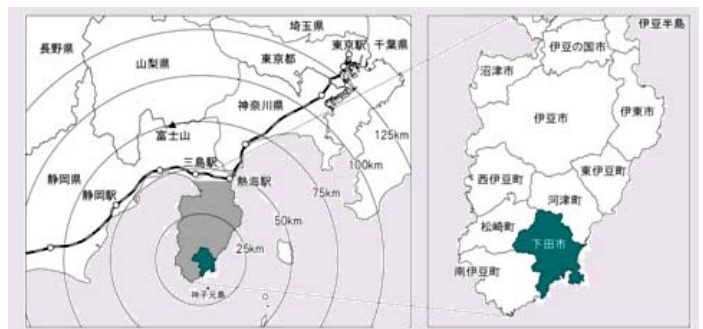
静岡県の南東部、伊豆半島の南部東側に位置する。

○面積

市域は東西約13km、南北約16km、面積は104.38km²

○人口

人口 21,492人(平成31年4月1日現在)



○伊豆縦貫自動車道の建設



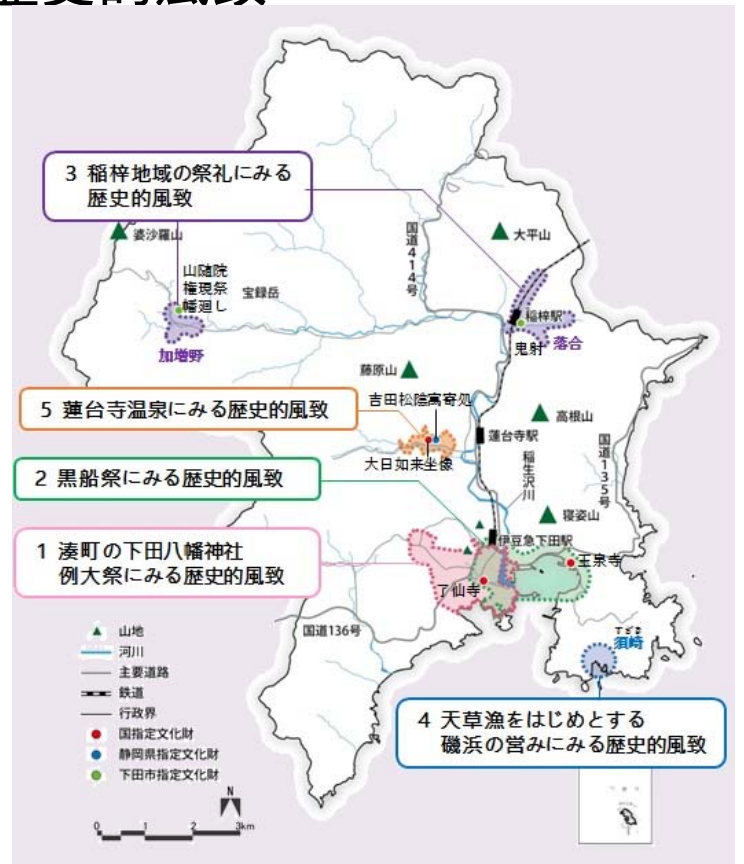
○伊豆半島ジオパークの世界認定



下田市②

下田市の歴史的風致

- 1 湊町の下田八幡神社例大祭にみる歴史的風致
- 2 黒船祭にみる歴史的風致
- 3 稲梓地域の祭礼にみる歴史的風致
- 4 天草漁をはじめとする磯浜の営みにみる歴史的風致
- 5 蓮台寺温泉にみる歴史的風致



下田市③

湊町の下田八幡神社例大祭にみる歴史的風致

下田八幡神社例大祭は、寛永4年(1627)に第2代下田奉行の今村伝四郎正長が、町の人々の意気の高揚と町の活性化を目的に始めたと伝えられている。

江戸末期からある伊豆石やなまこ壁の歴史的建造物があるまちなみを背景に、14 台の太鼓台とその後ろに笛、三味線がつきお囃子を奏でる。供奉道具11基を一系列円状にしてつくる太鼓橋が特徴的であることから「下田太鼓祭り」の愛称で呼ばれ、良好な歴史的風致を形成している。



下田八幡神社



了仙寺



了仙寺を巡幸する御神輿



太鼓台



御道具



太鼓橋



お囃子

下田市④

黒船祭にみる歴史的風致

幕末の日本開国の舞台となった下田港周辺では、日米交流を成す黒船祭が昭和9年(1934)より行われている。

下田港周辺には、了仙寺や玉泉寺といった歴史上重要な史跡をはじめ、開国の歴史にまつわる歴史的建造物が多く残されている。そうしたまちなみを背景に、墓前祭、パレード、下田条約調印式再現など日米親善と交流を広げる活動が引き継がれ、開国の歴史を伝える良好な歴史的風致を形成している。



玉泉寺



玉泉寺 アメリカ将兵の墓



米海軍音楽隊(玉泉寺)



下田条約調印式再現(了仙寺)



公式パレード



サインを求める子ども(開国市)

下田市⑤

稲梓地域の祭礼にみる歴史的風致

稲梓地域では、加増野地区の報本寺の山随院権現祭幡廻しや、落合地区の高根白山神社の鬼射といった祭事が、地域の人々によって代々大切に受け継がれていった。

山々に囲まれた各集落のなかには田畑が広がり、春夏秋冬を境に色とりどりの異なった美しい景観を見ることができる。これらの自然環境と祭事が一体となり、良好な歴史的風致を形成している。



山随権現本社 社



山随院権現祭幡廻し



鬼射(弓を射る)



小的を家に持ち帰る(鬼射)

蓮台寺温泉にみる歴史的風致

蓮台寺温泉では、湯を受けた神様を上湯権現、下湯権現として社に祭り、湯権現例祭を開催し、蓮台寺の誇りである温泉を授けてくれたお湯の神様に毎年感謝を捧げている。

この祭礼と湯の華小径や吉田松陰が訪れた村山邸(吉田松陰寓寄処)など風情あるまちなみとが一体となって良好な歴史的風致を形成している。



吉田松陰寓寄処(旧村山邸)



吉田松陰と村山氏が出会った共同湯



下の湯権現(例祭)



上の湯権現(例祭)

下田市⑥

天草漁をはじめとする磯浜の営みにみる歴史的風致

天草漁は、代々受け継がれてきた産業であり、その経験と知恵は、現在でも継承されている。

須崎では、海の恵みに感謝する津島神社例大祭が大切に残され、その漁で採れた天草の天日干しの風景や女性達が梱包運搬する風景は、港に面する斜面地の集落や港と一体になって良好な歴史的風致を形成している。



須崎の集落



須崎漁港



天草の天日干し



天草の運搬



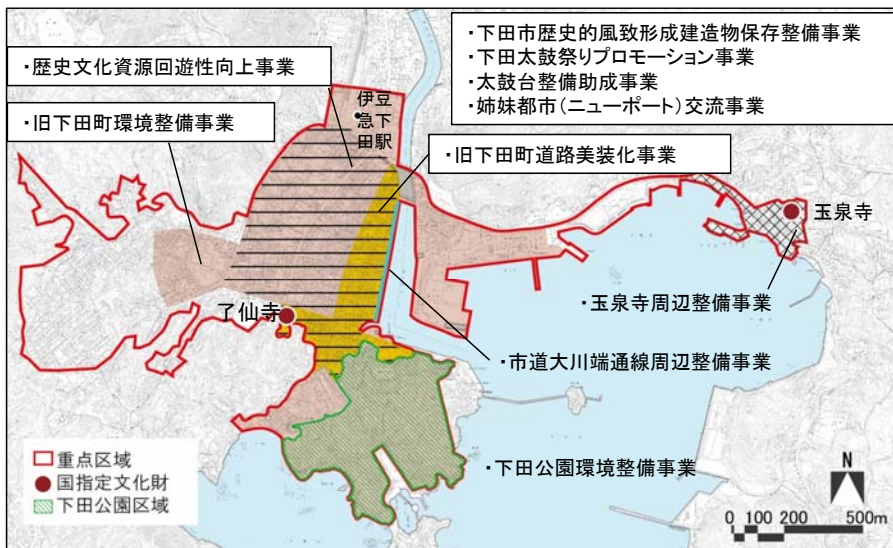
天草のポン(束)作り



津島神社例大祭

下田市⑦

重点区域における施策・事業



歴史的風致形成建造物保存事業



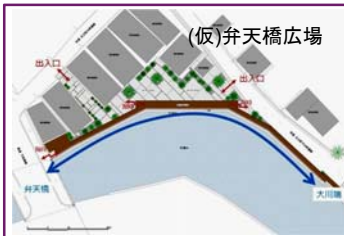
現況調査、維持管理や活用についての検討。補修をするための助成を行う。

旧下田町道路美装化事業



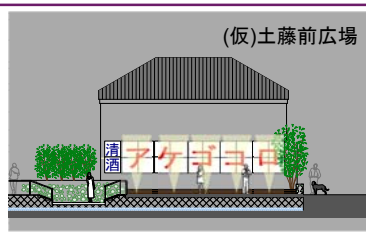
歴史ある街なみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装を行う。

旧下田町環境整備事業



(仮)弁天橋広場

(仮)土藤前広場



散策エリアにポケットパークなど休憩施設の整備により、観光客の快適性と良好な景観形成を図る。

記念イベント 「美濃流し仁輪加」

美濃まつり（毎年4月第2土曜日と翌日曜日に開催）の夜に町の辻々で繰り広げられる即興劇。「今」の世相を表す風刺と洒落で織りなすネタ、楽しい美濃弁、ユニークな扮装も見どころ。話のオチは「エッキョウ」の声で締めくくられ、観客の笑いの渦に引き込みます。国選択無形民俗文化財。



【メモ欄】

第7回中部歴史まちづくりサミット 共同宣言

我が中部地方には、城や神社、仏閣などの歴史的価値の高い建造物が数多く残されており、その周辺で歴史や伝統を反映した人々の生活が営まれることにより、地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。

私たちは、歴史的価値の高い建造物や伝統文化の保存、継承、歴史的風致の向上等を通じて郷土愛を育み、地域の活性化に努めてまいりました。

本日、「美濃和紙の産地」であり、「うだつの上がる 町並み」として知られるここ美濃市において、それぞれの「まち」の魅力を向上し、それらを世界の人々へ発信することの重要性を改めて認識することができました。

令和という新しい時代を迎え、私たち14市1町は、歴史的価値の高い建造物やまちなみ、伝統芸能や祭礼 行事など、地域固有の風情・情緒を活用した各都市の 品格・空間等の魅力を高める取り組みをより一層推進し、後世に継承していくと共に、それらの魅力をより多くの世代や海外に向け連携・協力して継続的に発信していくことを、ここに宣言します。

令和元年10月30日

中部歴史まちづくり認定都市一同

(高山市、亀山市、犬山市、恵那市、美濃市、
明和町、岐阜市、郡上市、名古屋市、伊賀市、
岡崎市、三島市、掛川市、伊豆の国市、下田市)